

景気動向調査結果

(令和2年4月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 2 年 4 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 2 年 5 月に電話等によるヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、443 社（製造業 239 社（うちヒアリング 62 社）、非製造業 204 社）で、回答率は 63.3 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和2年4月の景気動向

1 総論

長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により悪化しており、厳しい状況となっています。

製造業の業況は、自動車関連を中心に、新型コロナウイルス感染症による国内外の影響などを受けて悪化し、7期連続のマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食業や宿泊業を中心に大幅に悪化し、全体では2期ぶりの悪化となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（平成31年4月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 62.0$ となり、前回調査時（令和2年1月）の $\Delta 43.0$ より19.0ポイント悪化し、7期連続のマイナス水準となりました。

3か月前（令和2年1月）と比較したD Iは $\Delta 59.1$ となり、前回調査時の $\Delta 22.7$ より36.4ポイント悪化し、7期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（令和2年7月）の予想では、D Iは $\Delta 61.7$ となり、8期連続のマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワーク向け需要の増加などから、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターは、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少から、受注、生産に弱さがみられます。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、産業用途や自動車関連向けでは、受注、生産が弱含んでいます。

イ 一般機械では、半導体関連向けで、一部に回復に向けた動きがみられるものの、自動車関連向けでは、新型コロナウイルス感染症などの影響から、受注、生産に弱さがみられます。建設機械は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内向けで受注、生産に弱さがみられるほか、北米や欧州の海外向けでは、受注、生産が弱含んでいます。

ウ 精密では、時計は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の需要の低迷から、受注、生産が弱含んでいます。レンズは、プロジェクター向けなどでは、需要の減少により受注、生産に弱さがみられます。計器は、圧力計は、産業機械向けや自動車向けで中国経済の減速などの影響から、受注が弱含んでいます。LPガスメーターは、取替需要などにより受注、生産が堅調に推移しています。

エ 自動車部品では、国内向け、海外向けともに新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少から、受注、生産が悪化しています。

オ 食料品では、味そは外出自粛の影響により業務用需要が減少しているものの、家庭用需要の増加や季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。酒類は、外出自粛の影響により、家庭用需要の増加がみられるものの、業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。飲料は季節的要因によりペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しているものの、外出自粛の影響による需要の減少により弱含んでいます。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が13.1%と前回(18.6%)より減少し、「減少」とする企業が69.2%と前回(53.8%)より増加した結果、D Iは前回(△35.2)より悪化し、△56.1となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が14.8%と前回(16.4%)より減少し、「減少」とする企業が65.3%と前回(34.1%)より増加した結果、D Iは前回(△17.7)より大幅に悪化し、△50.5となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が3.0%、「減少」とする企業が65.8%となった結果、D Iは△62.8となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が16.0%と前回(17.9%)より減少し、「減少」とする企業が63.7%と前回(50.0%)より増加した結果、D Iは前回(△32.1)より悪化し、△47.7となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が17.8%と前回(15.7%)より増加し、「減少」とする企業が56.8%と前回(39.2%)より増加した結果、D Iは前回(△23.5)より悪化し、△39.0となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が3.8%、「減少」とする企業が66.2%となった結果、D Iは△62.4となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が4.7%と前回(9.0%)より減少し、「安い」とする企業が15.7%と前回(16.7%)よりやや減少した結果、D Iは前回(△7.7)より悪化し、△11.0となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が1.7%と前回(5.9%)より減少し、「安い」とする企業が9.4%と前回(5.9%)より増加した結果、D Iは前回(0.0)より悪化し、△7.7となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が3.0%、「安い」とする企業が9.4%となった結果、D Iは△6.4となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が6.4%と前回(3.7%)より増加し、「苦しい」とする企業が28.3%と前回(23.7%)より増加した結果、D Iは前回(△20.0)より悪化し、△21.9となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が5.2%と前回(4.2%)よりやや増加し、「苦しい」とする企業が23.7%と前回(14.5%)より増加した結果、D Iは前回(△10.3)より悪化し、△18.5となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が3.0%、「苦しい」とする企業が39.4%となった結果、D Iは△36.4となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が6.7%と前回(11.3%)より減少し、「低下」とする企業が55.9%と前回(48.9%)より増加した結果、D Iは前回(△37.6)より悪化し、△49.2となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が6.3%と前回(6.8%)よりやや減少し、「低下」とする企業が48.5%と前回(29.1%)より増加した結果、D Iは前回(△22.3)より悪化し、△42.2となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が1.3%、「低下」とする企業が55.5%となった結果、D Iは△54.2となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワーク向け需要の増加などから、受注、生産が堅調に推移しています。

プリンターは、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少から、受注、生産に弱さがみられます。

(半導体関連・プリント基板) パソコン向けで受注、生産に回復がみられるものの、産業用途や自動車関連向けでは、受注、生産が弱含んでいます。

(抵抗器・コンデンサ等) 産業用途や自動車関連向けは、一部に回復に向けた動きがみられるものの、中国経済の減速などの影響から、総じて受注、生産が弱含んでいます。

(モーター等) 産業用途や自動車関連向けは、一部に回復に向けた動きがみられるものの、中国経済の減速などの影響から、総じて受注、生産が弱含んでいます。家電向けは受注、生産が弱含んでいます。

(その他) カーナビゲーションは、国内需要の減少などにより、受注、生産が減少しています。電源関連は、国内需要の減少により、低調に推移しています。

一般機械

(工作機械) 半導体関連向けは、一部に回復に向けた動きがみられるものの、自動車関連向けでは、新型コロナウイルス感染症などの影響から、受注、生産に弱さがみられます。

(金型) 自動車関連向けは、国内需要の減少などにより受注、生産が弱含んでいます。

(建設機械) 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内向けで受注、生産に弱さがみられるほか、北米や欧州の海外向けでは、受注、生産が弱含んでいます。

(農業用機械等) 国内需要の減少などにより、受注、生産が弱含んでいます。

精 密

(時 計)

腕時計は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の需要の低迷から、受注、生産が弱含んでいます。

(レ ン ズ)

プロジェクター向けなどでは、需要の減少により受注、生産に弱さがみられます。

(計 器)

圧力計は、産業機械向けや自動車向けで中国経済の減速などの影響から、受注が弱含んでいます。LPガスメーターは、取替需要などにより受注、生産が堅調に推移しています。

自 動 車 部 品

国内向け、海外向けともに新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少から、受注、生産が悪化しています。

食 料 品

(味 そ)

外出自粛の影響により業務用需要が減少しているものの、家庭用需要の増加や季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。

(酒 類)

清酒やワインは、外出自粛の影響により、家庭用需要の増加がみられるものの、業務用需要の減少から、受注、生産が弱含んでいます。

(飲 料)

季節的要因によりペットボトル飲料を中心に受注、生産が増加しているものの、外出自粛の影響による需要の減少により弱含んでいます。

織 維 ・ 衣 服

ワイシャツは、季節的要因により、受注、生産が増加しているものの、外出自粛による需要の減少により弱含んでいます。

紙 ・ パルプ

ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が増加しています。

印 刷

季節的要因により受注、生産が増加しているものの、印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。

そ の 他

プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで、受注、生産が弱含んでいます。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（平成31年4月）と比較したD Iは $\Delta 73.2$ となり、前回調査時（令和2年1月）の $\Delta 35.5$ より37.7ポイント悪化し、2期ぶりの悪化となりました。

3か月前（令和2年1月）と比較したD Iは $\Delta 64.7$ となり、前回調査時の $\Delta 28.6$ より36.1ポイント悪化し、2期ぶりの悪化となりました。

また、3か月後（令和2年7月）の予想では、D Iは $\Delta 72.8$ となりました。

〔各業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、新型コロナウイルス感染症の影響により民間工事で先送りなど慎重な動きがみられ、客数（受注件数）D I、売上高D I等が悪化したことから、業況D Iは $\Delta 35.5$ と前回（ $\Delta 23.5$ ）より悪化しました。

3か月後の予想については、「良い」とする企業が6.7%、「悪い」とする企業が56.7%となった結果、業況D Iは $\Delta 50.0$ となりました。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い一部で企業のテレワーク環境整備などの引き合いがあるものの、全体として受注が鈍い動きとなり、客数（受注件数）D I、売上高D I等が悪化したため、業況D Iは $\Delta 27.3$ と前回（25.0）より大幅に悪化し、7期ぶりのマイナス水準となりました。

3か月後の予想については、「良い」とする企業が0%、「悪い」とする企業が90.9%となった結果、業況D Iは $\Delta 90.9$ となりました。

ウ 小売業

小売業では、新型コロナウイルス感染防止対策に伴う外出自粛から、消費マインドの低下により客数D I、売上高D I等が悪化したため、業況D Iは $\Delta 82.4$ と前回（ $\Delta 50.9$ ）より悪化しました。

3か月後の予想については、「良い」とする企業が4.8%、「悪い」とする企業が82.1%となった結果、業況D Iは $\Delta 77.3$ となりました。

エ 卸売業

卸売業では、新型コロナウイルス感染防止対策に伴う小売店舗での売り上げ減少の影響により、売上高D Iや収益率D I等が悪化したため、業況D Iは $\Delta 57.1$ と前回（ $\Delta 42.1$ ）より悪化しました。

3か月後の予想については、「良い」とする企業が5.0%、「悪い」とする企業が80.0%となった結果、業況D Iは $\Delta 75.0$ となりました。

オ 飲食業

飲食業では、新型コロナウイルス感染防止対策に伴う休業や営業時間の短縮等により客数D I、売上高D I等が悪化し、業況D Iは $\Delta 100.0$ と前回（4.8）より大幅に悪化しました。

3か月後の予想については、「良い」とする企業が10.5%、「悪い」とする企業が84.2%となった結果、業況D Iは $\Delta 73.7$ となりました。

カ 宿泊業

宿泊業では、新型コロナウイルス感染防止対策による影響から観光、ビジネス利用を問わず宿泊客が大幅に減少したことから、客数D I、売上高D I等が悪化したため、業況D Iは $\Delta 100.0$ と前回（ $\Delta 30.8$ ）より大幅に悪化しました。

3か月後の予想については、「良い」とする企業が10.0%、「悪い」とする企業が85.0%となった結果、業況D Iは $\Delta 75.0$ となりました。

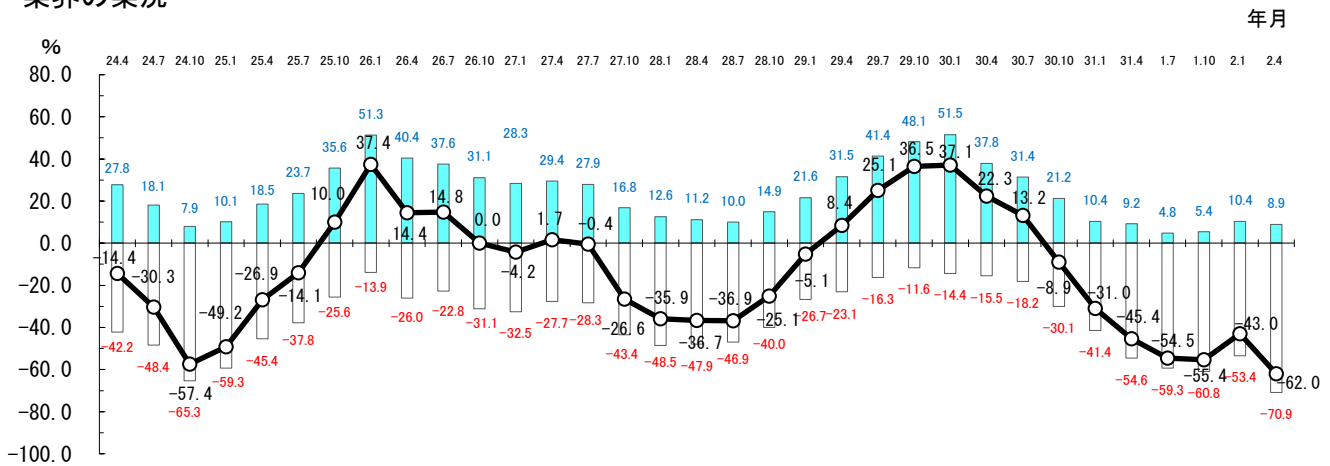
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

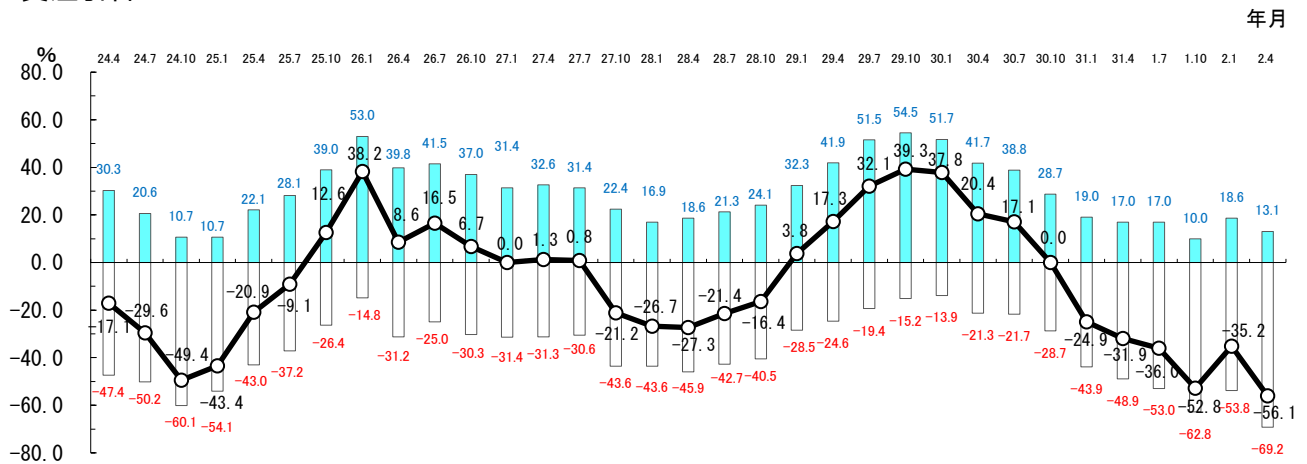
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

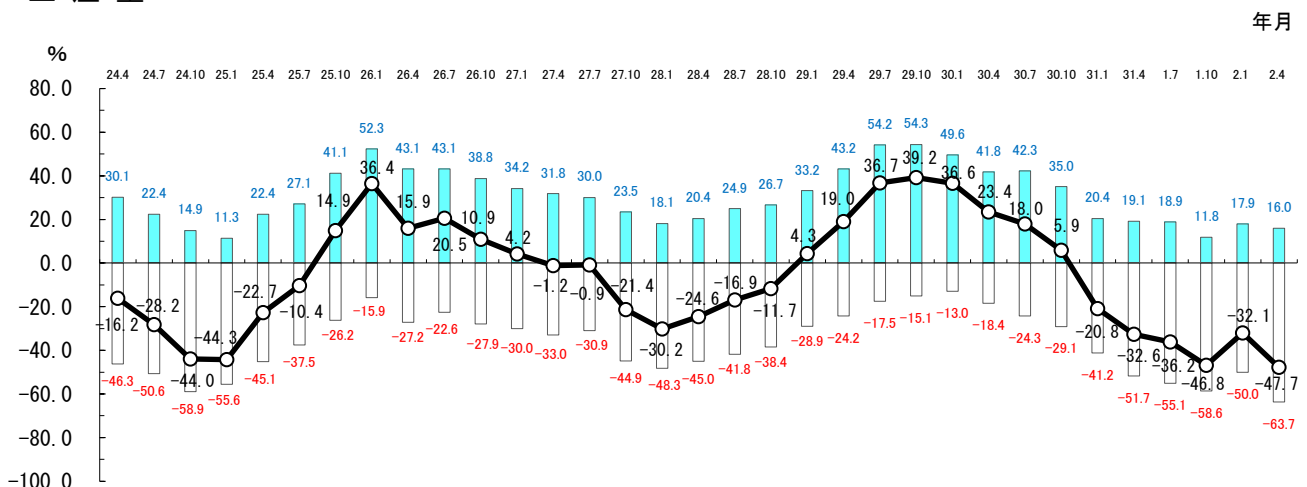
業界の業況



受注引合

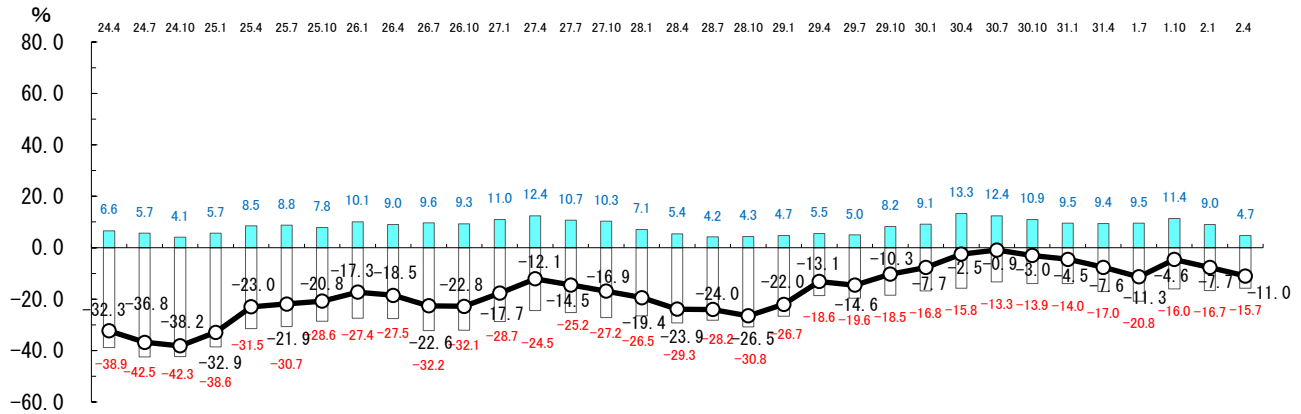


生産量



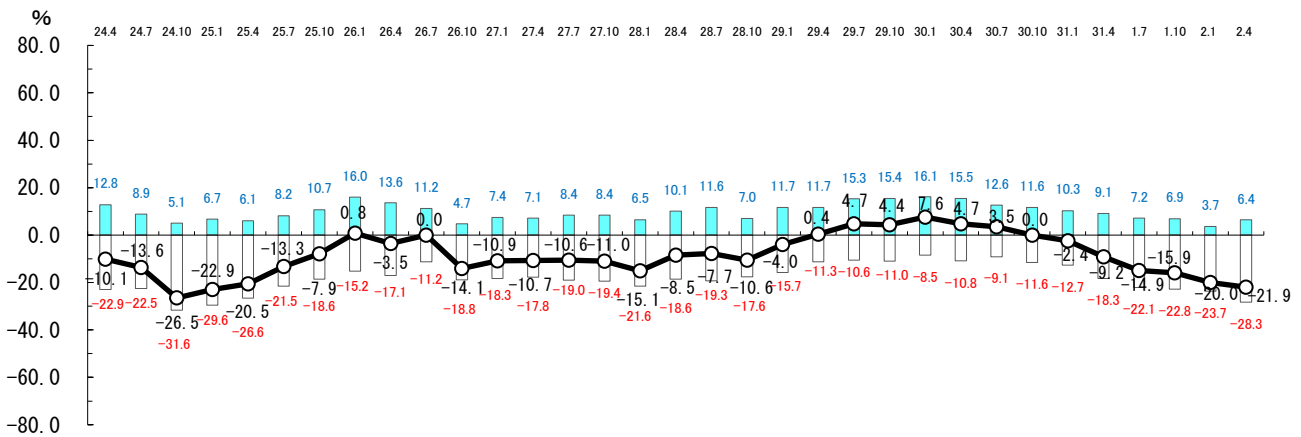
製品販売価格

年月



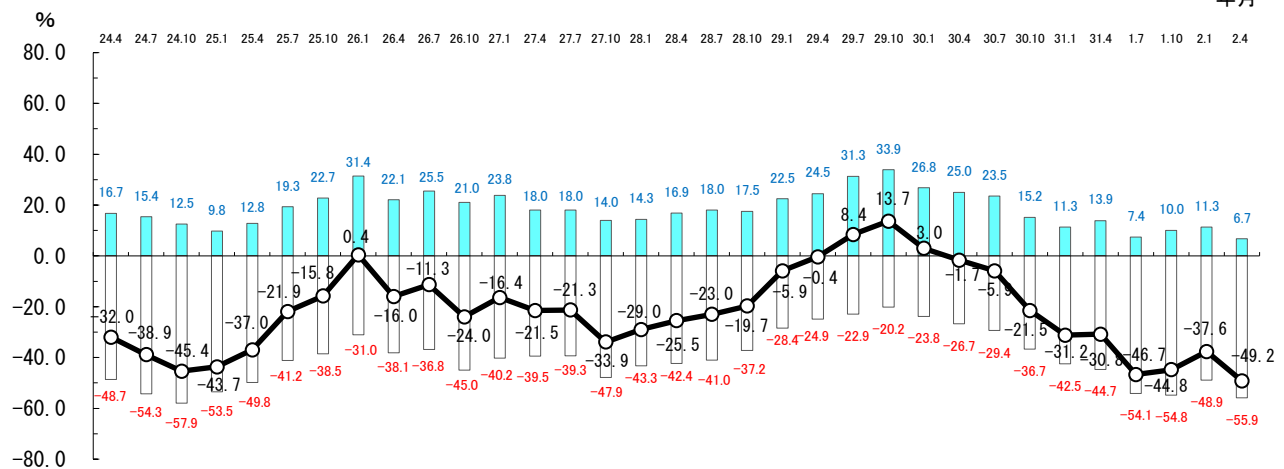
資金繰り

年月



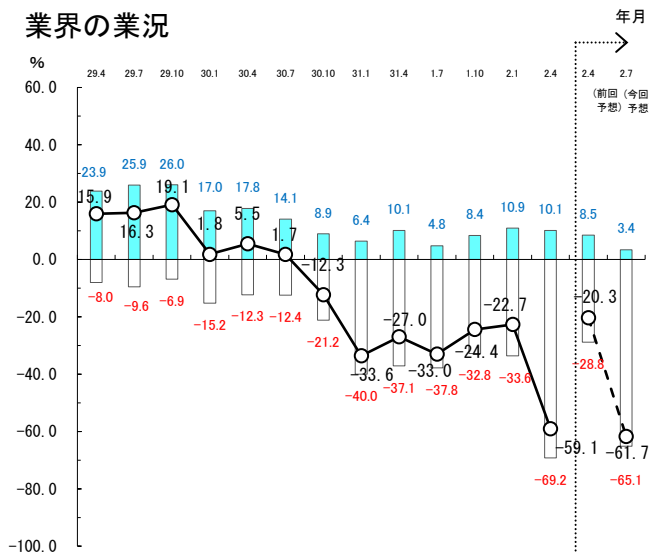
収益率

年月

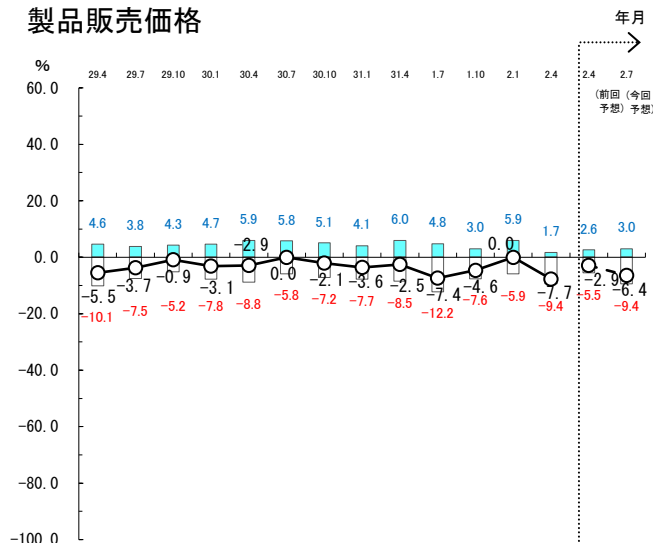


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

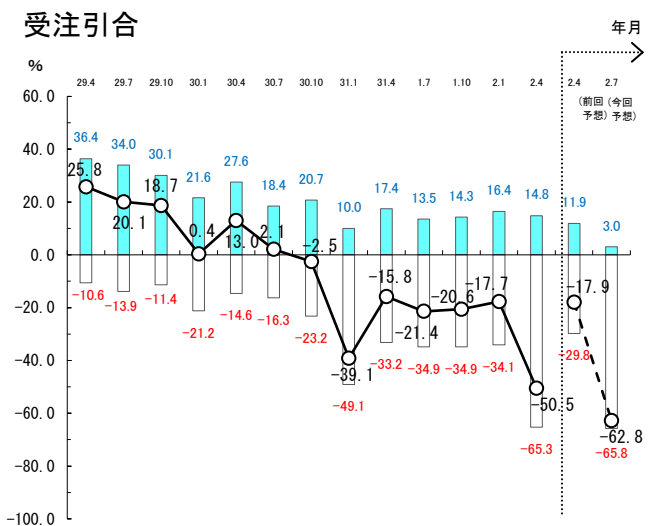
業界の業況



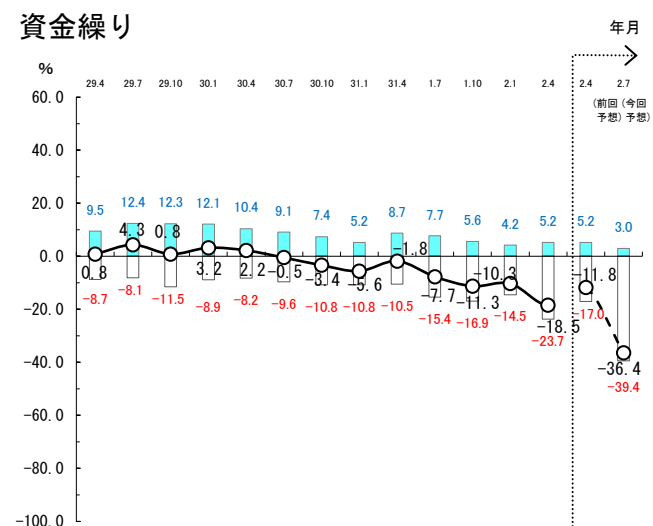
製品販売価格



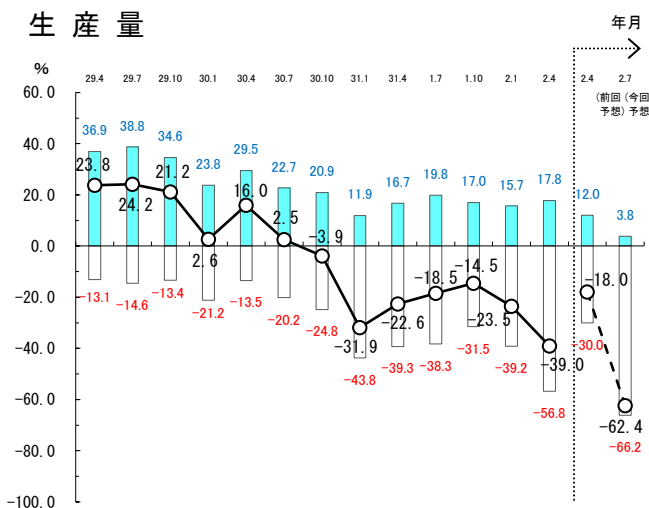
受注引合



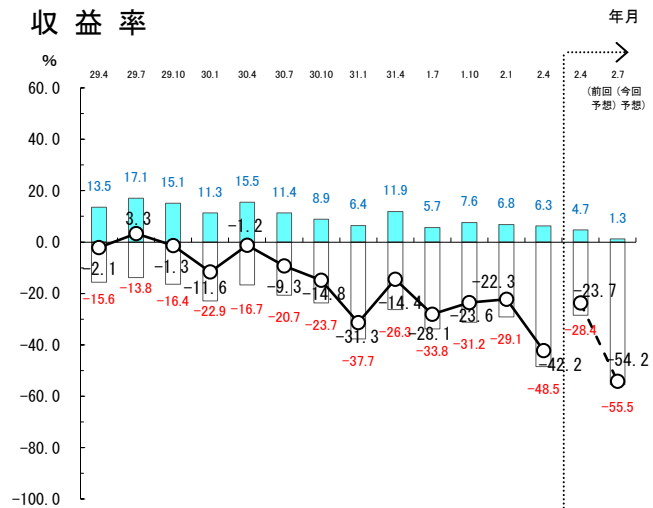
資金繰り



生産量



収益率

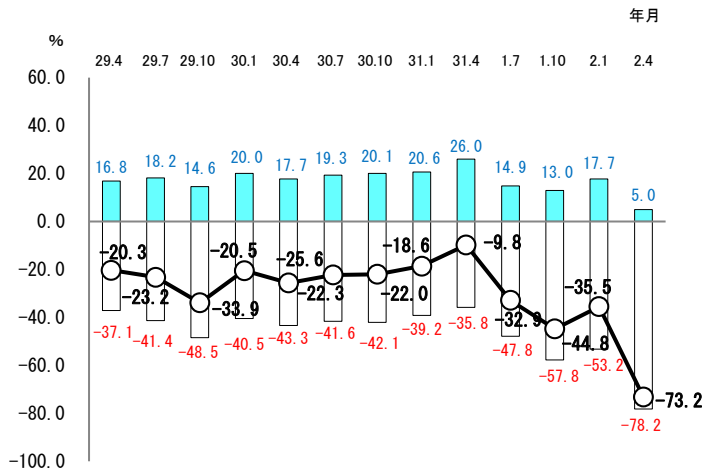


2 非製造業

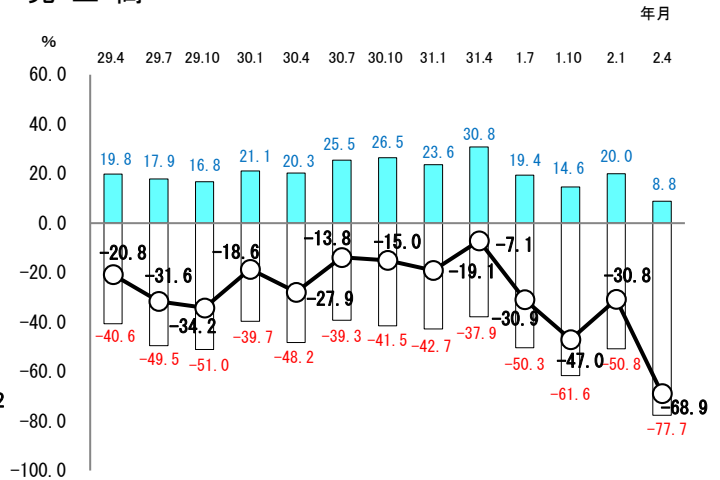
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

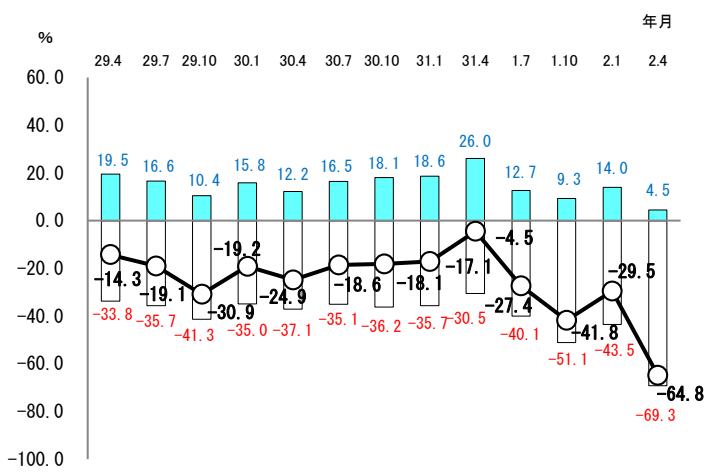
業況



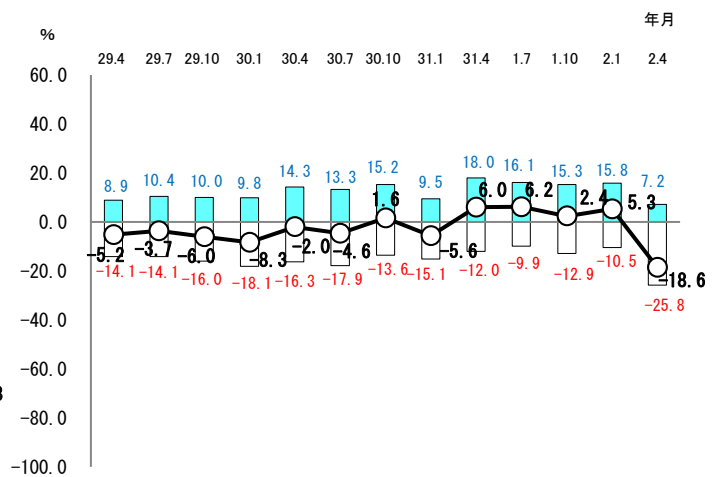
売上高



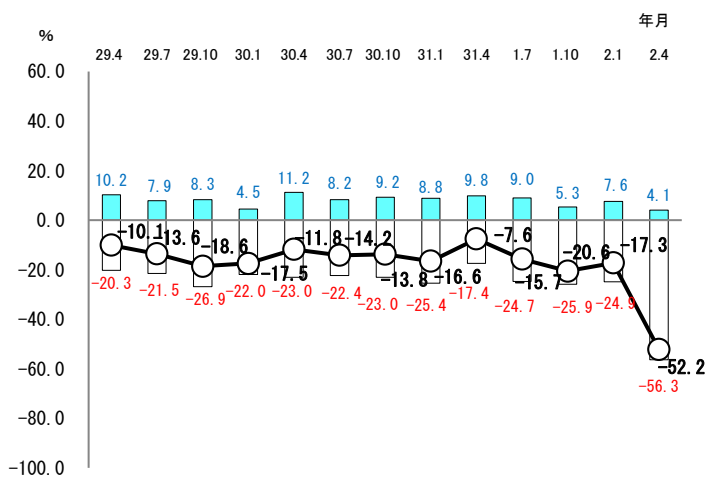
客数 (受注件数・取引先数)



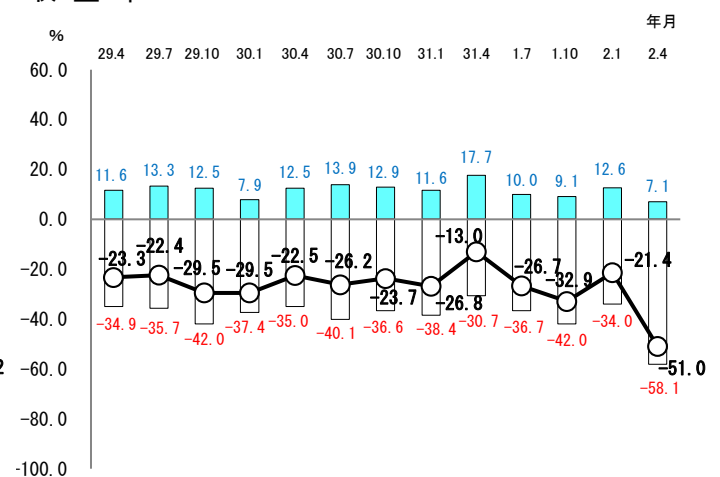
販売価格



資金繰り

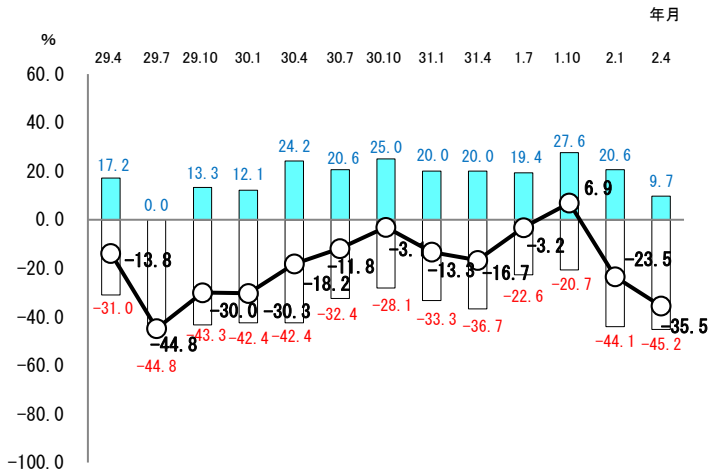


収益率

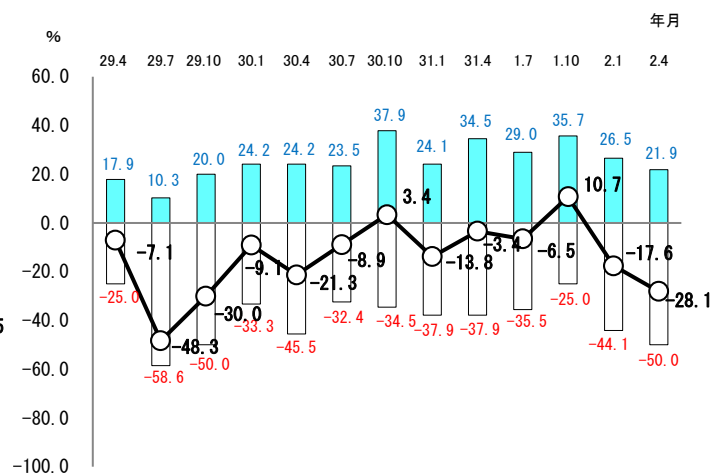


ア 建設業

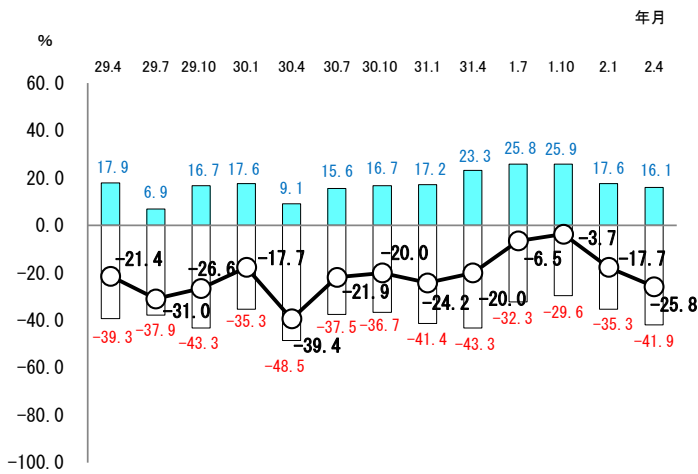
業況



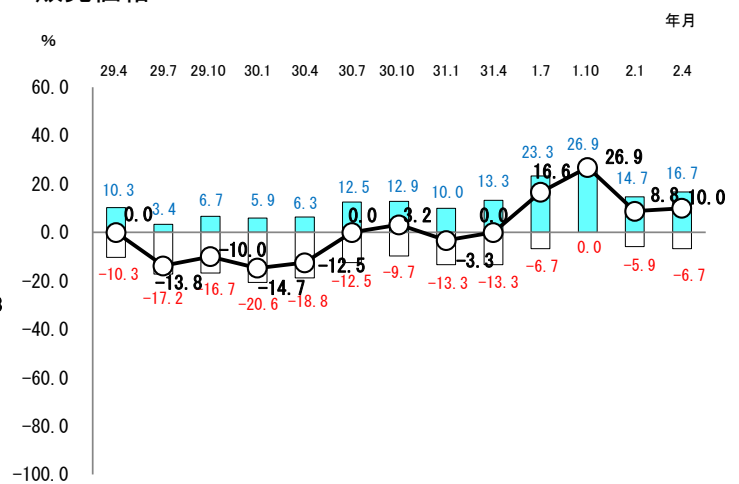
売上高



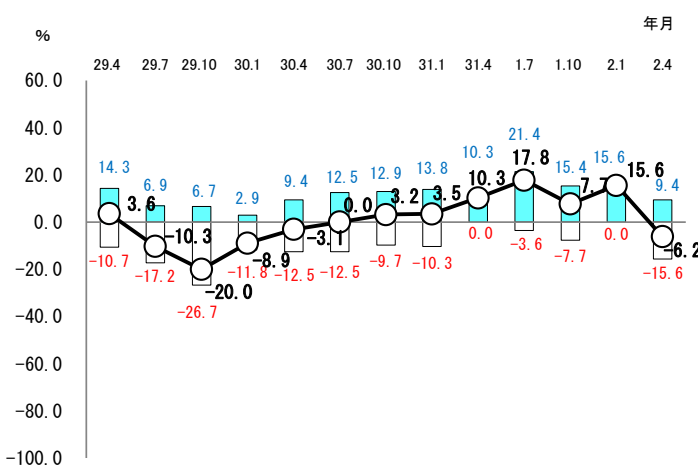
客数 (受注件数)



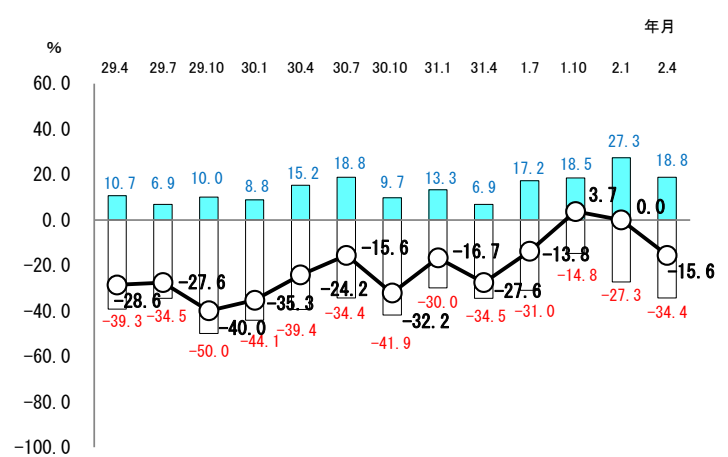
販売価格



資金繰り

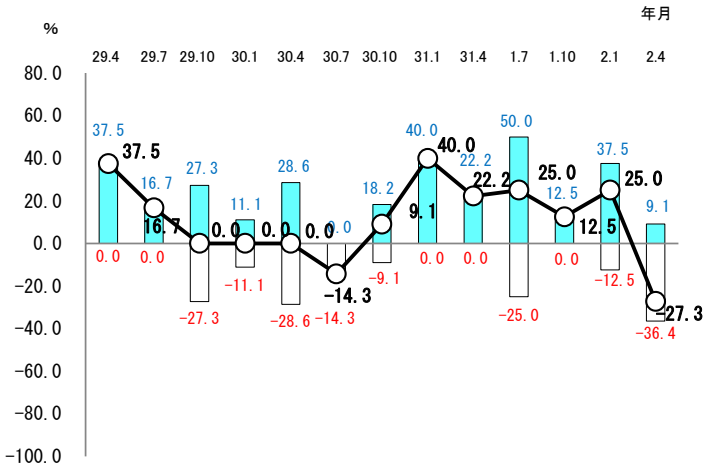


収益率

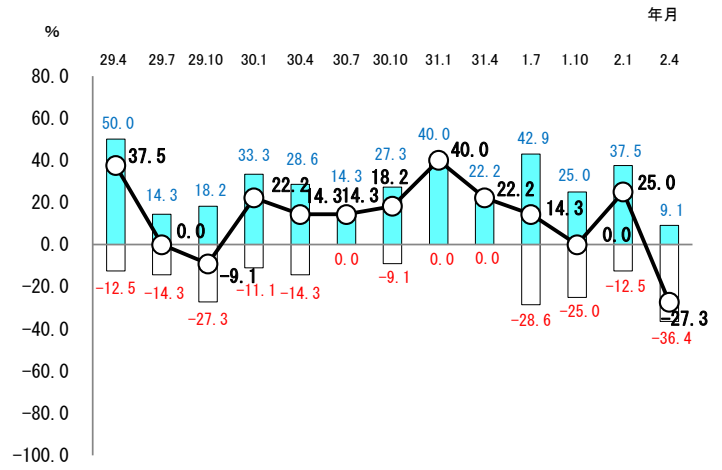


イ 情報サービス業

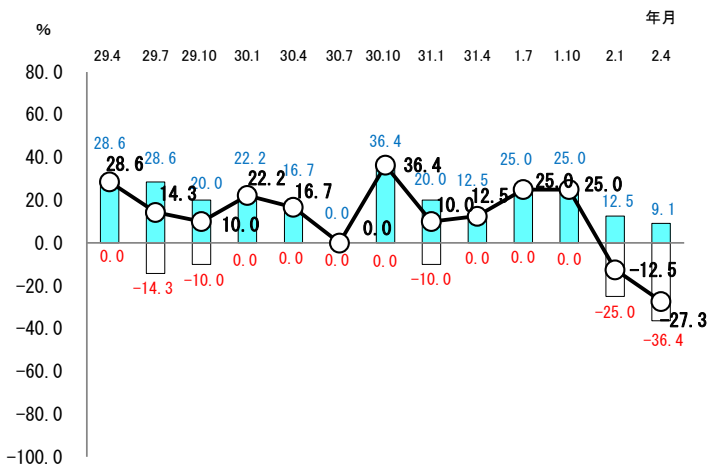
業況



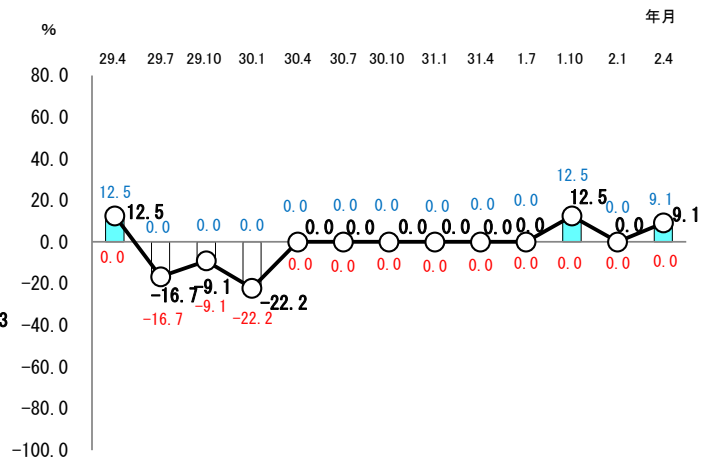
売上高



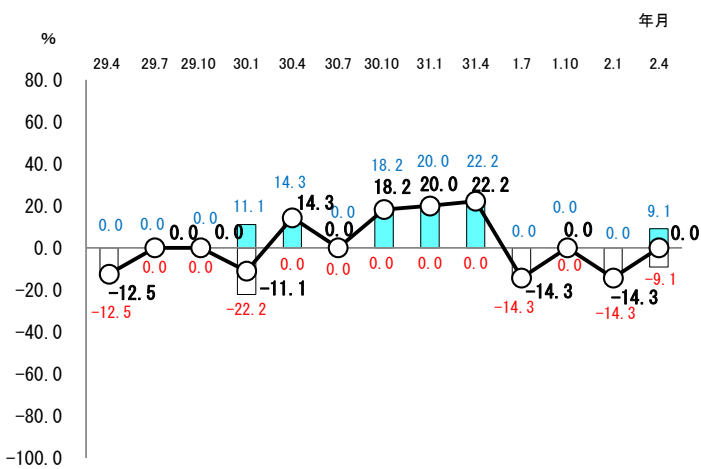
客数 (受案件数)



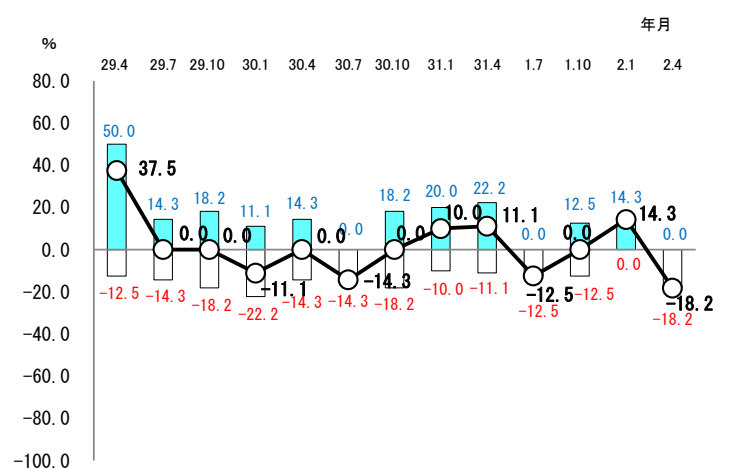
販売価格



資金繰り

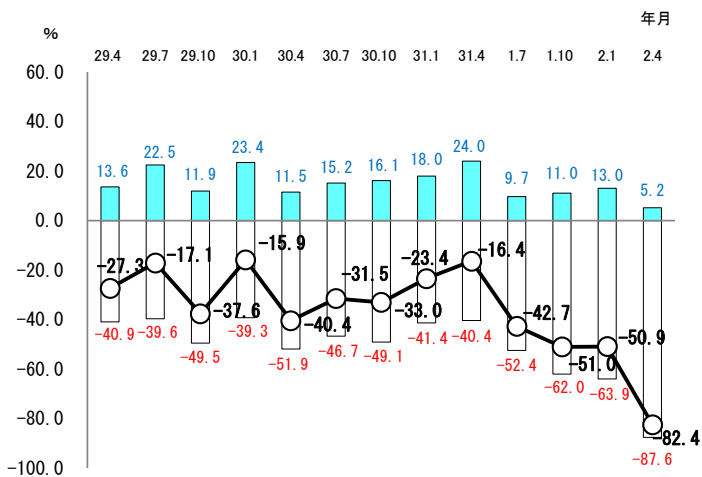


収益率

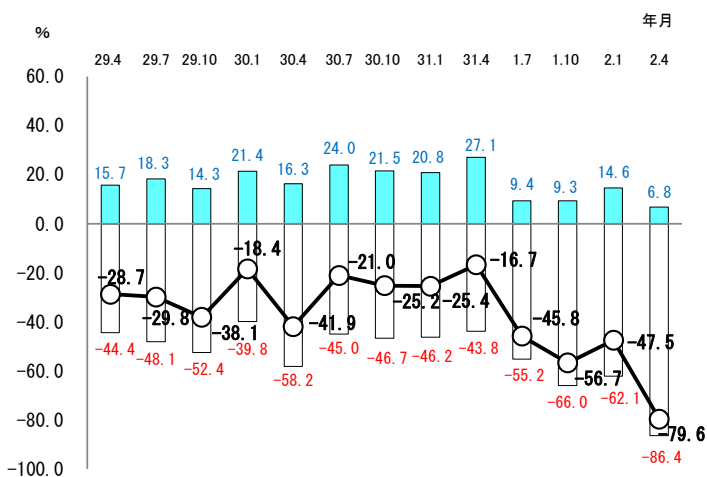


ウ 小売業

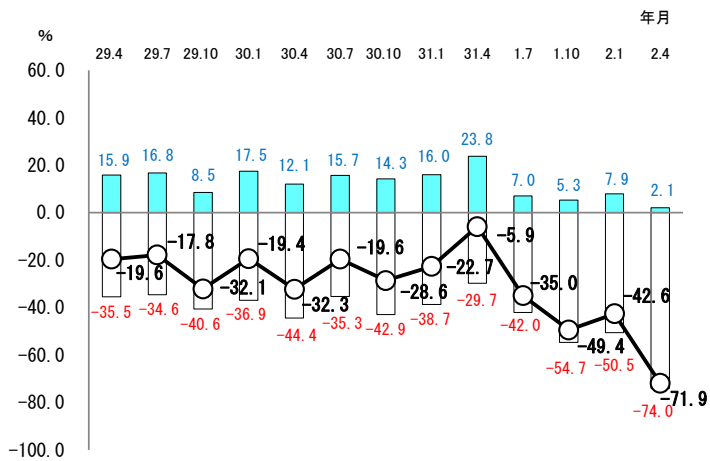
業況



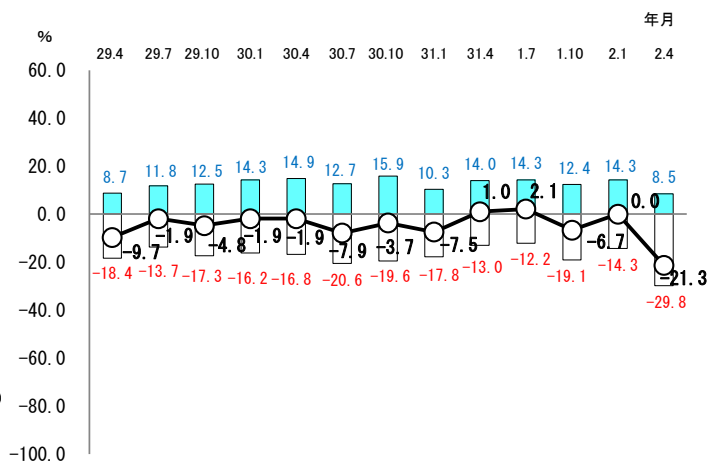
売上高



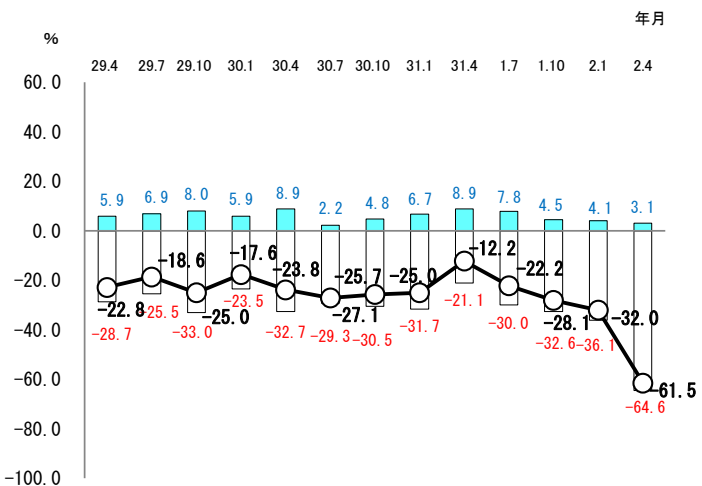
客数



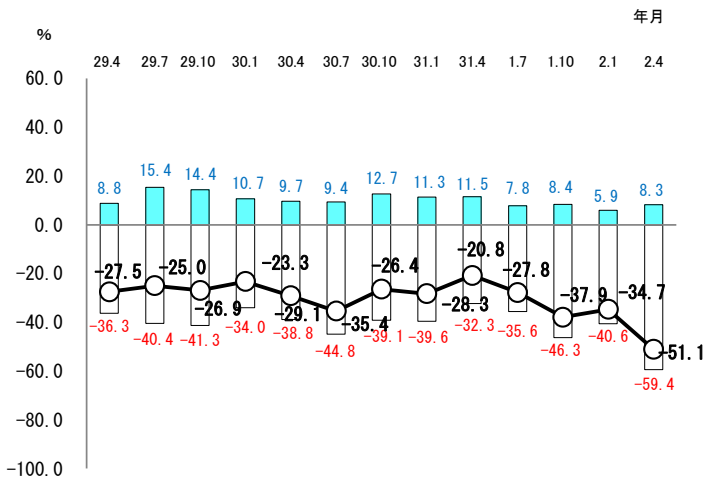
販売価格



資金繰り

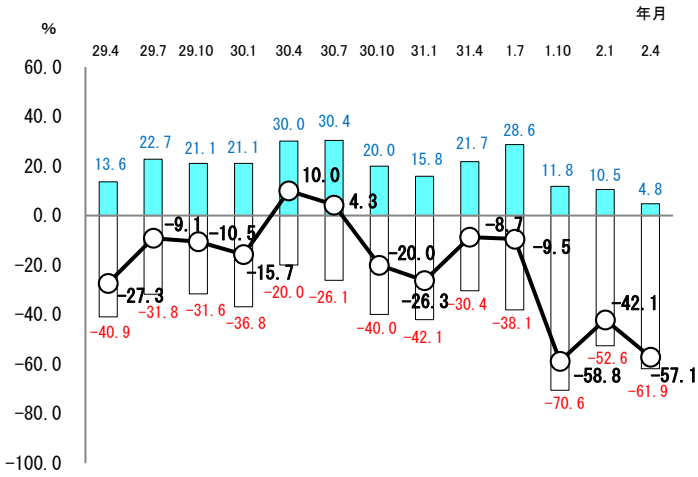


収益率

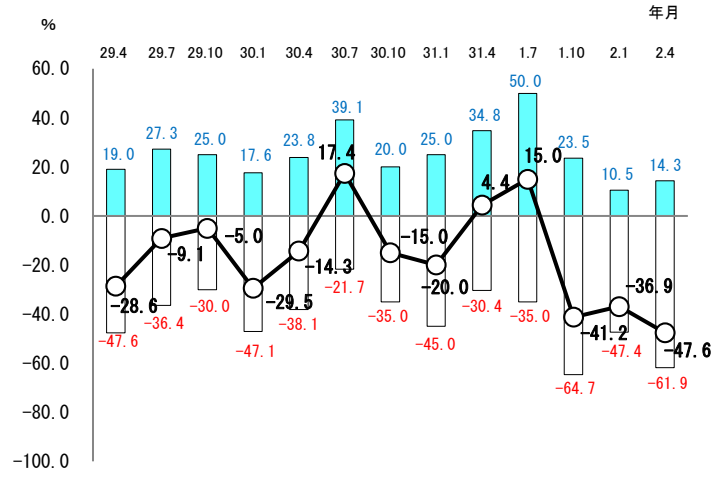


工 卸売業

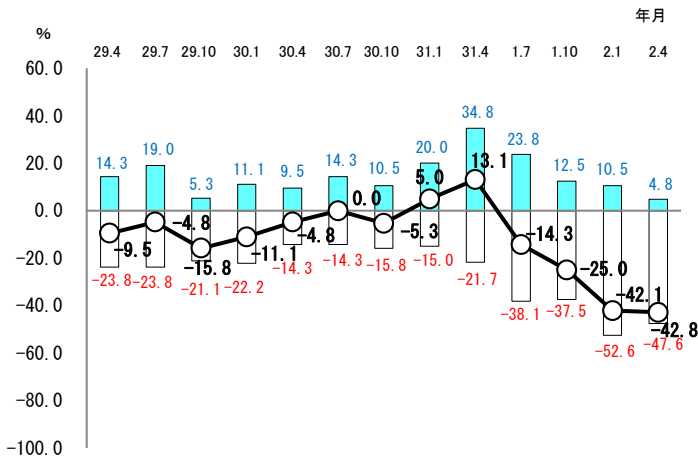
業況



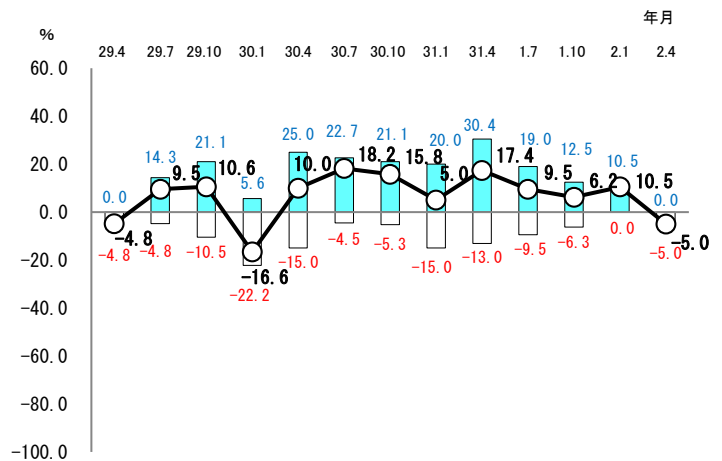
売上高



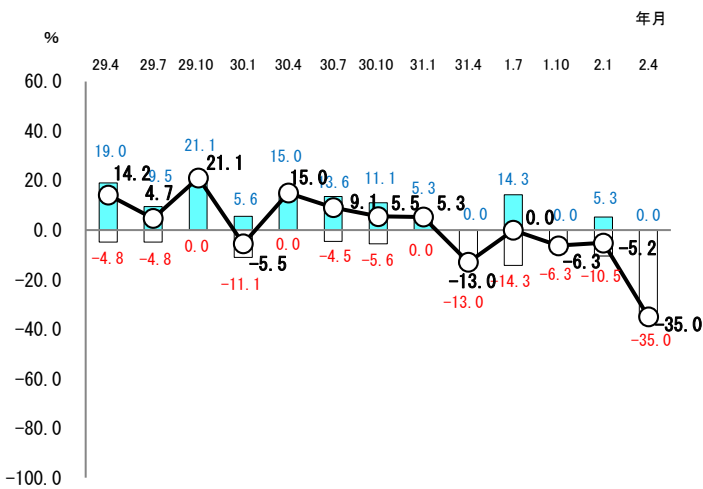
客数 (取引先数)



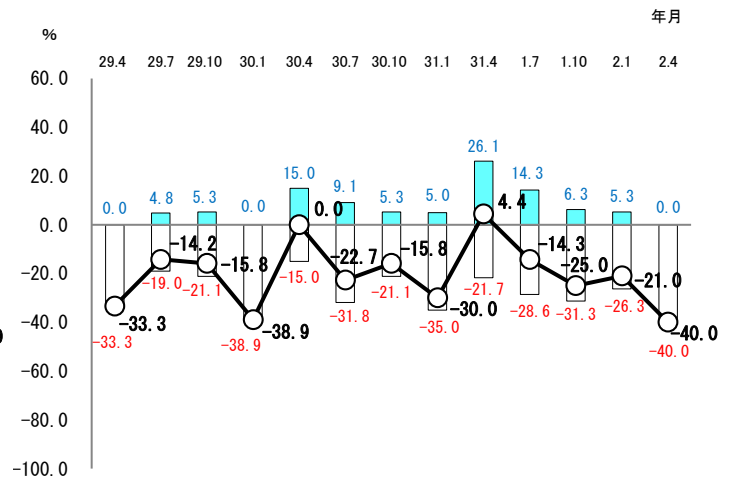
販売価格



資金繰り

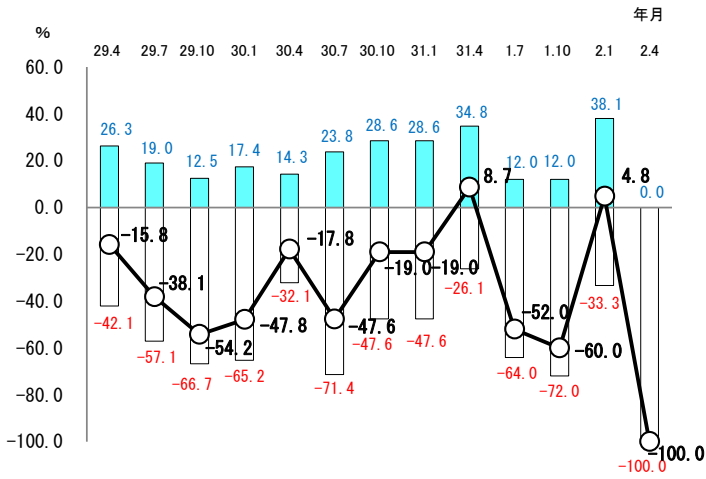


収益率

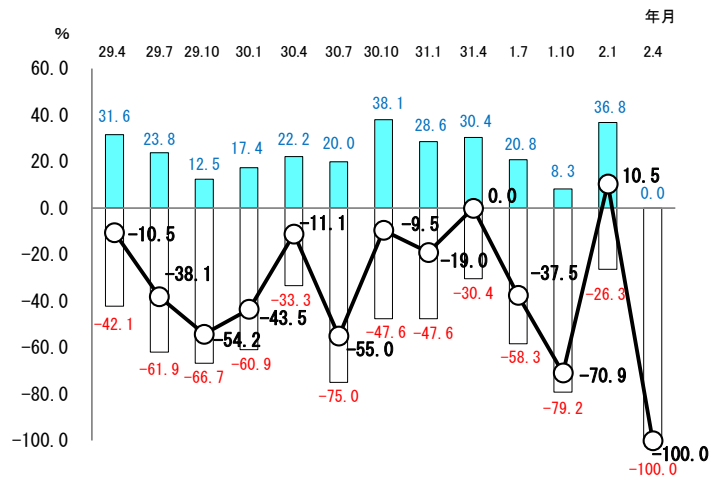


才 飲食業

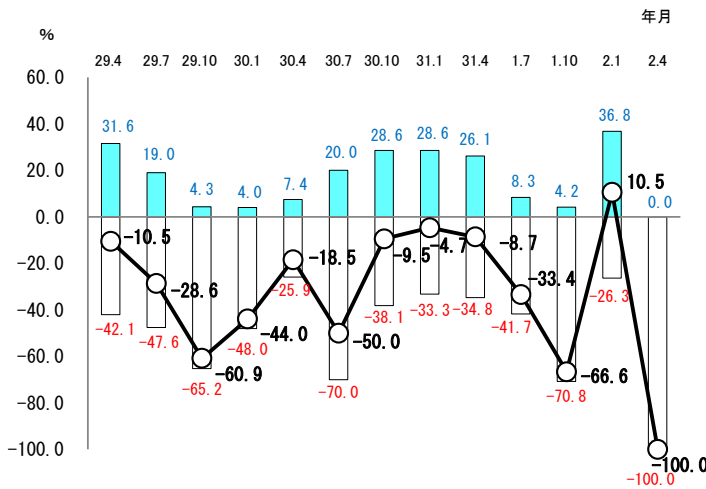
業況



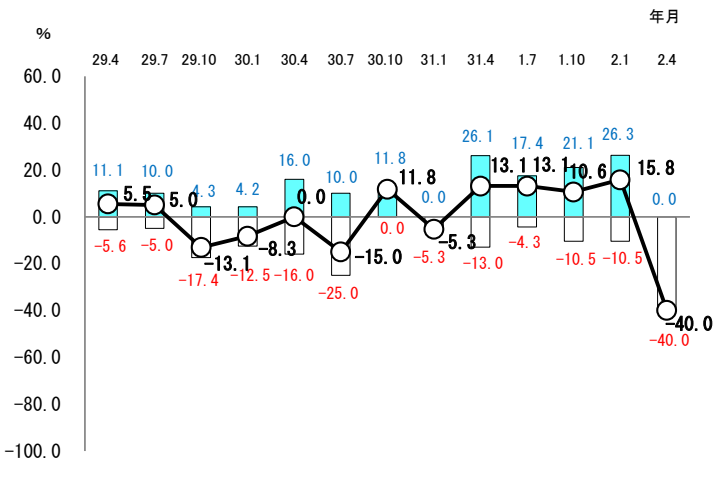
売上高



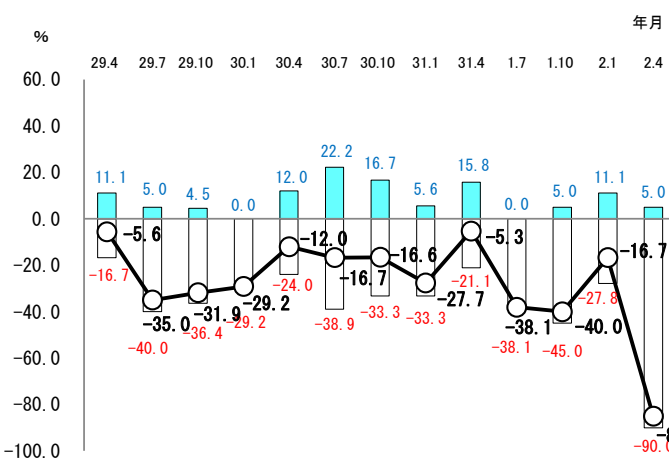
客数



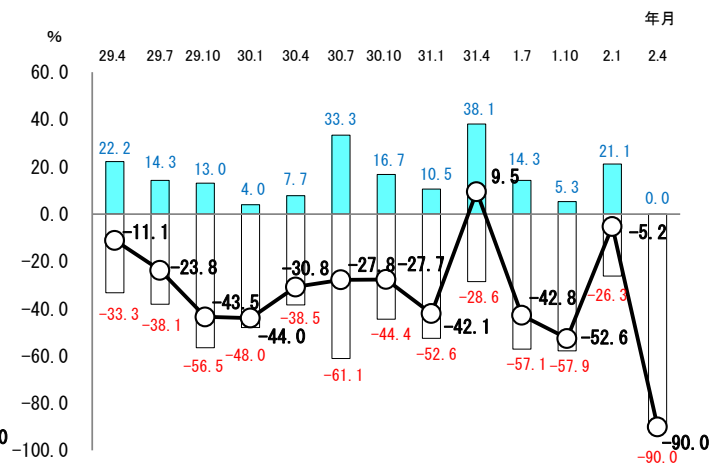
販売価格



資金繰り

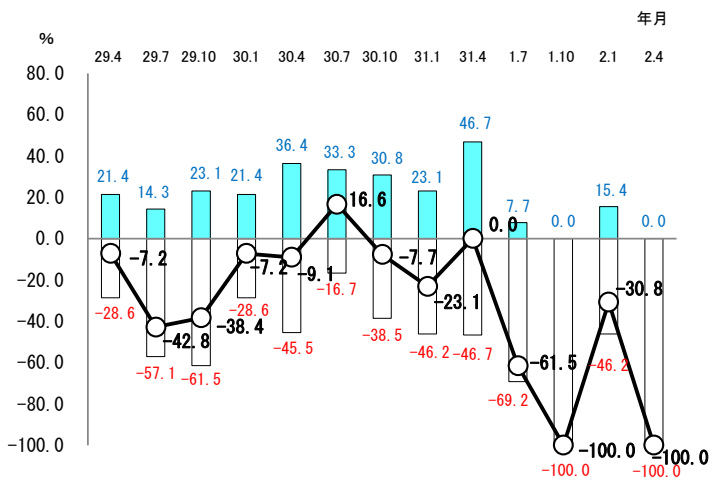


収益率

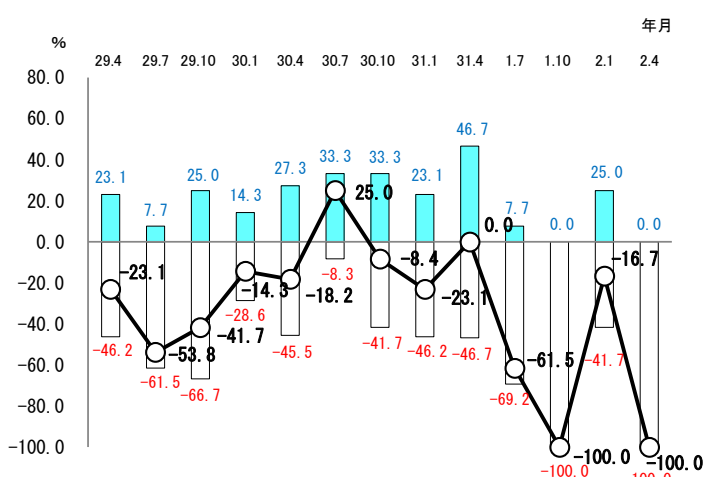


力 宿泊業

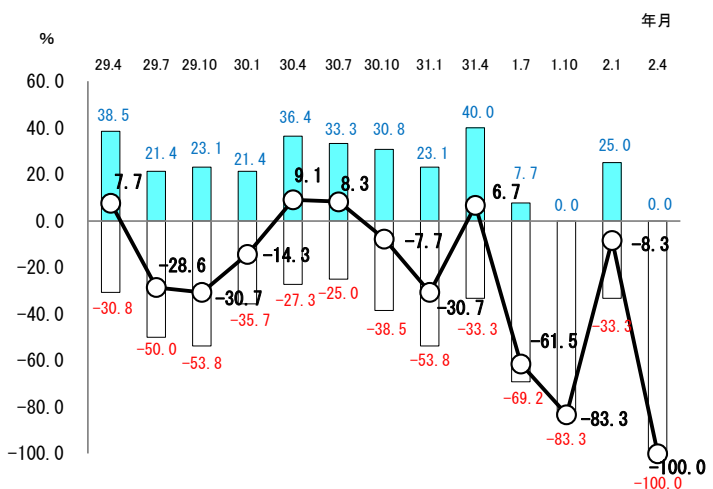
業況



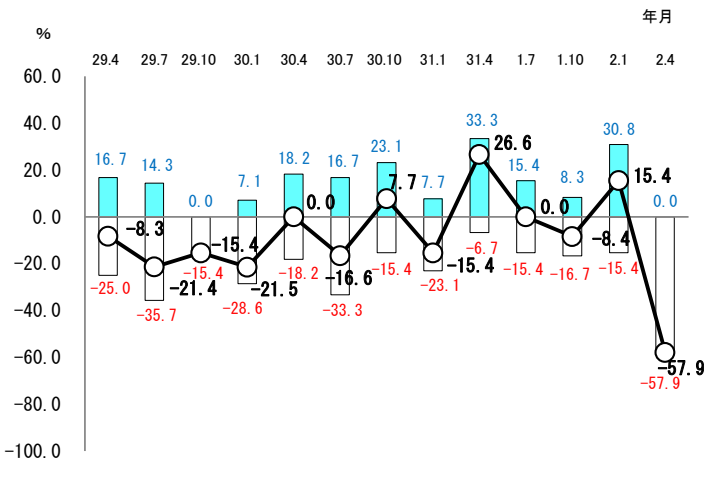
売上高



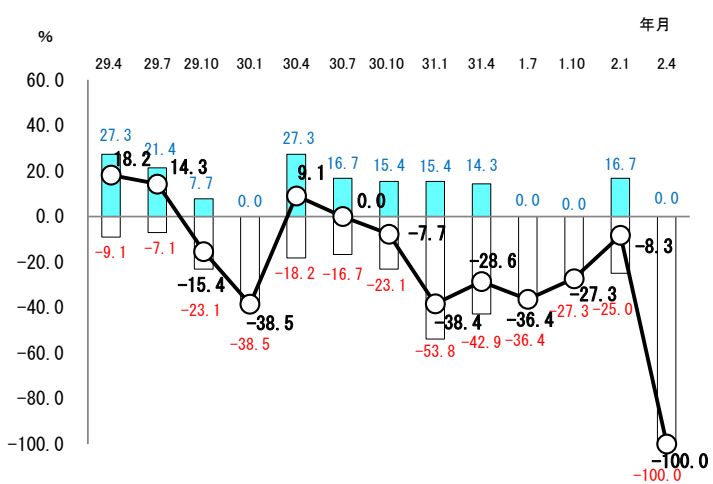
客数



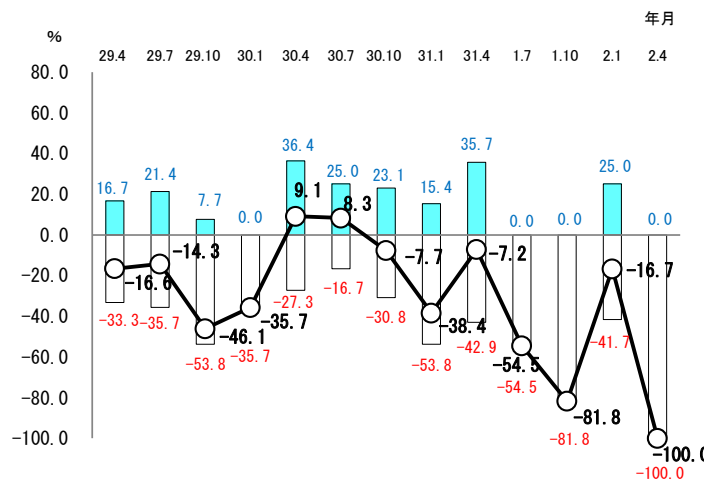
販売価格



資金繰り



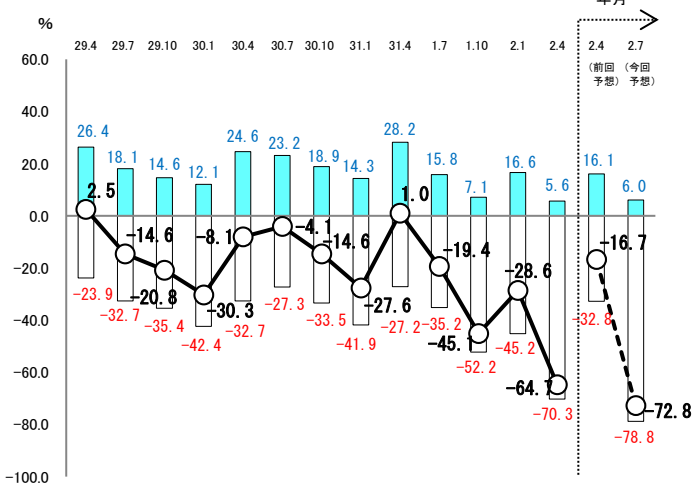
収益率



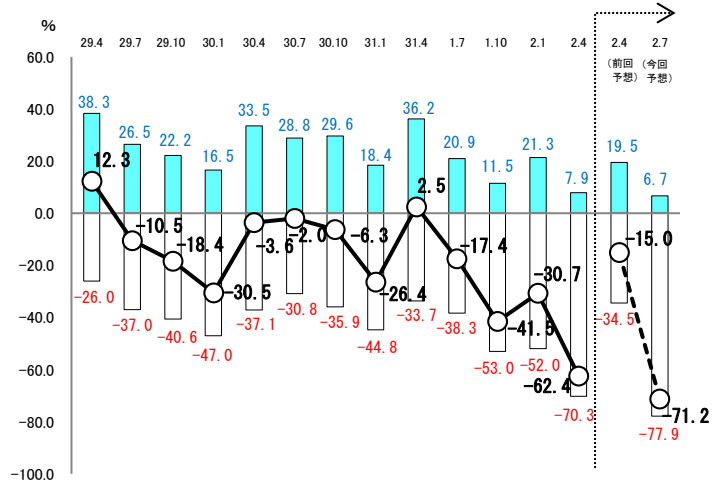
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

非製造業全体

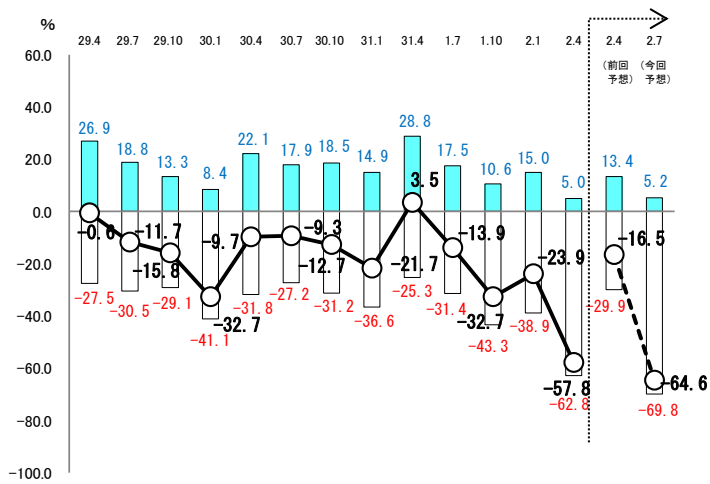
業況



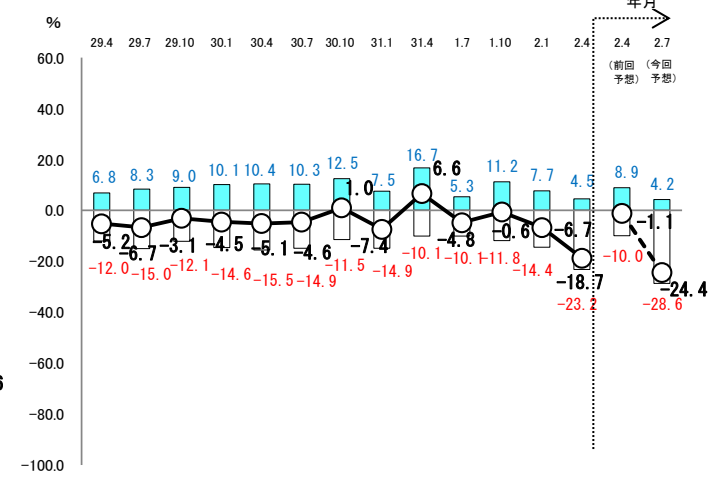
売上高



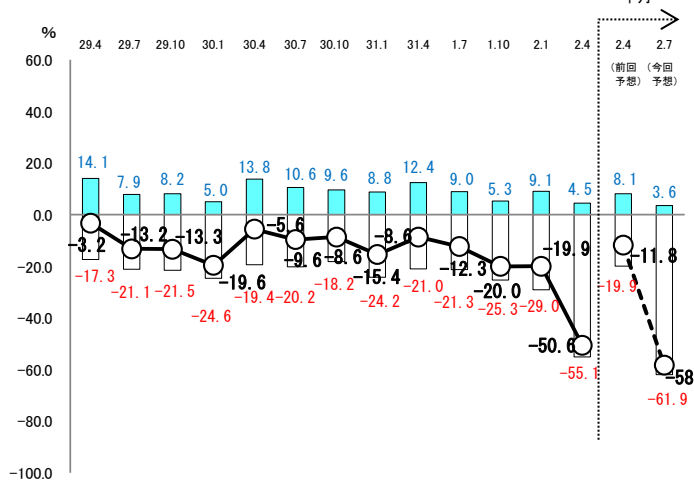
客数 (受注件数・取引先数)



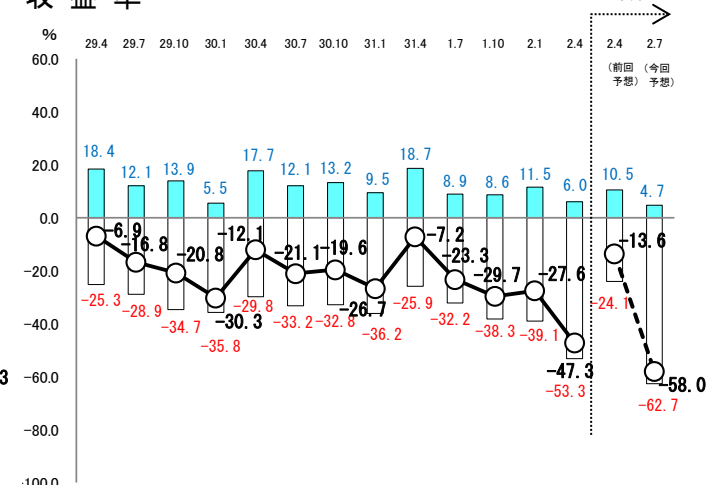
販売価格



資金繰り

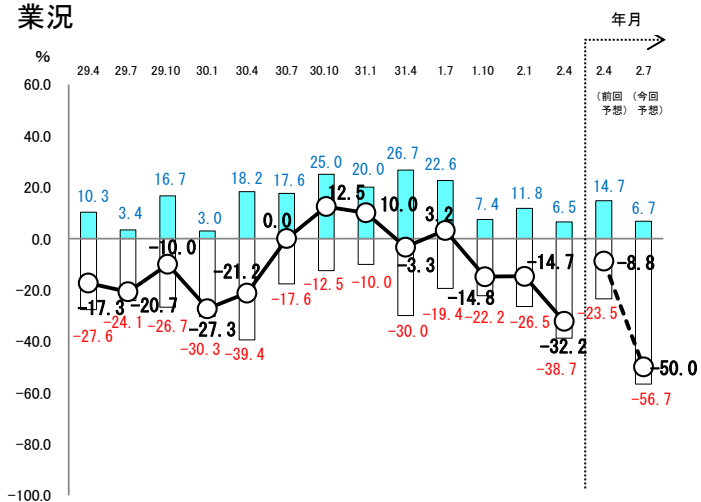


収益率

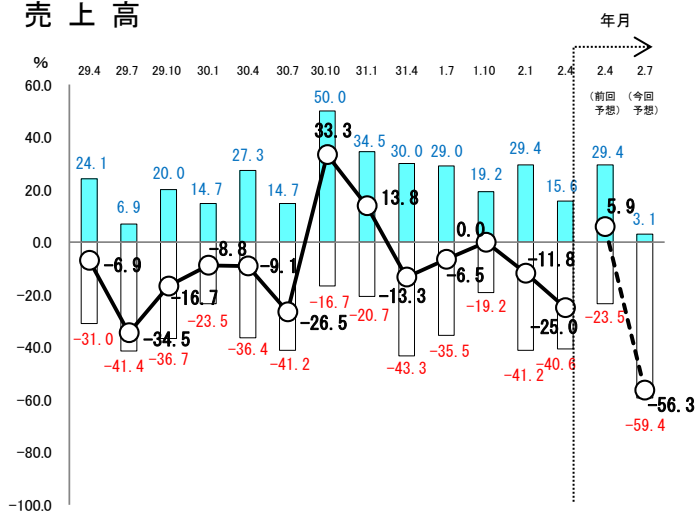


ア 建設業

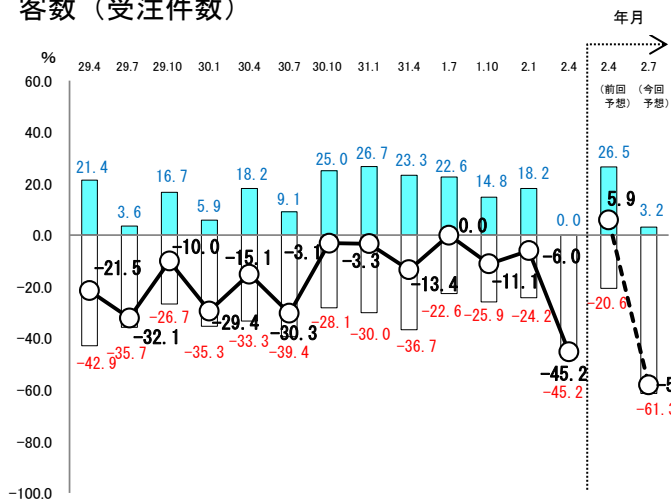
業況



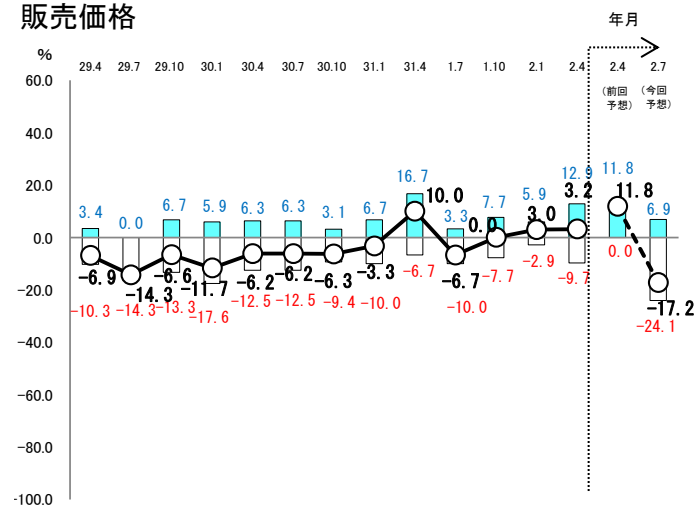
売上高



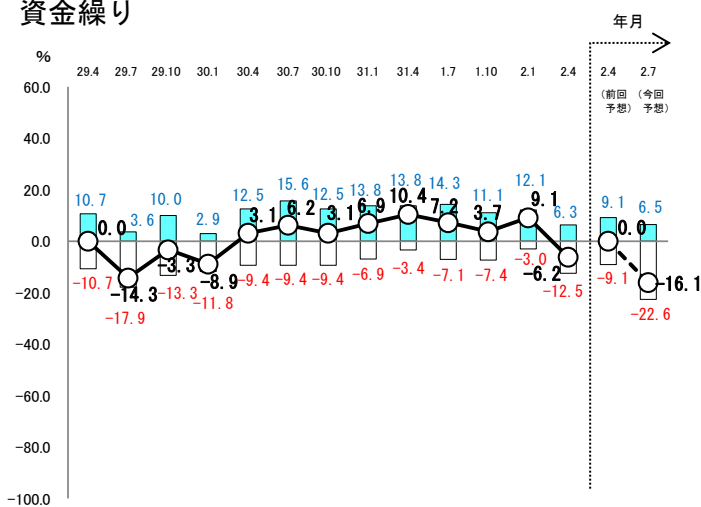
客数 (受注件数)



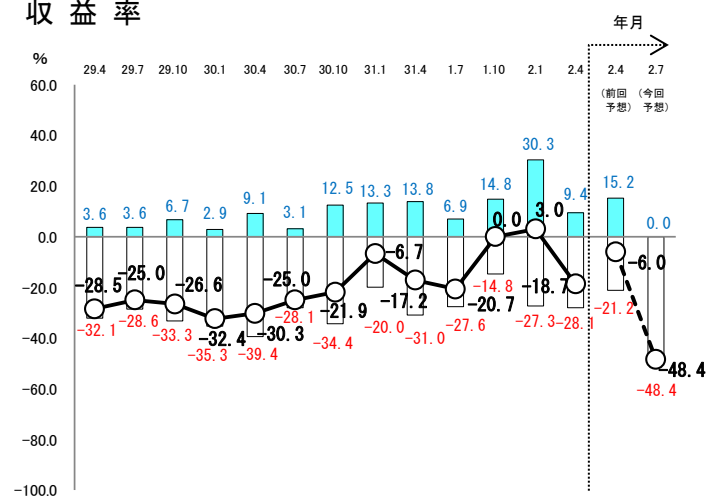
販売価格



資金繰り

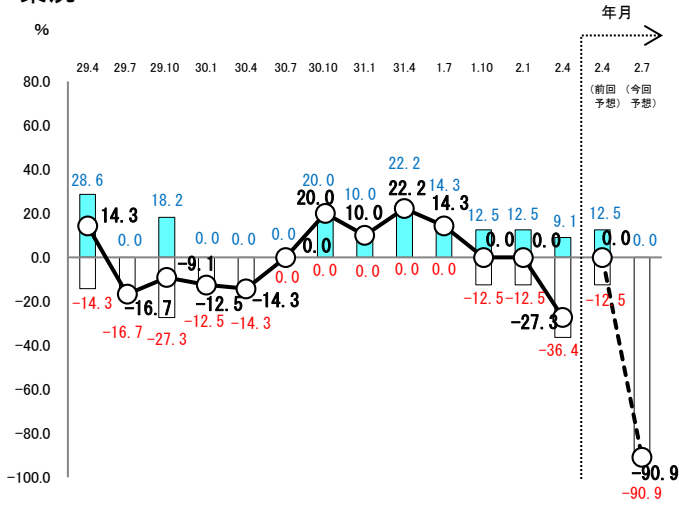


収益率

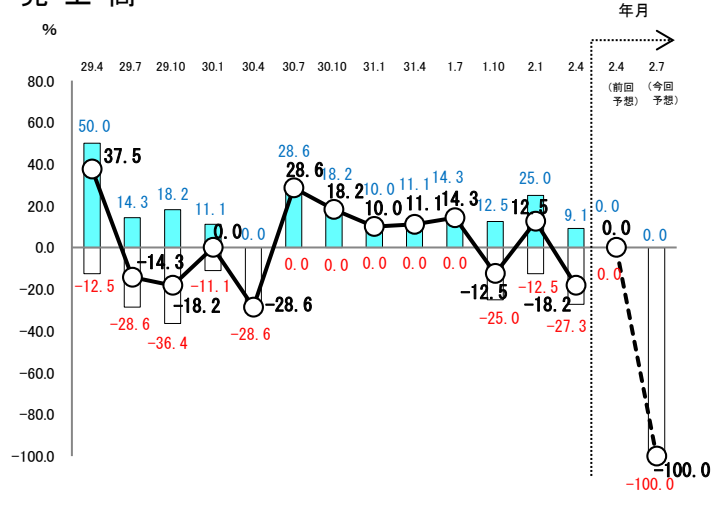


イ 情報サービス業

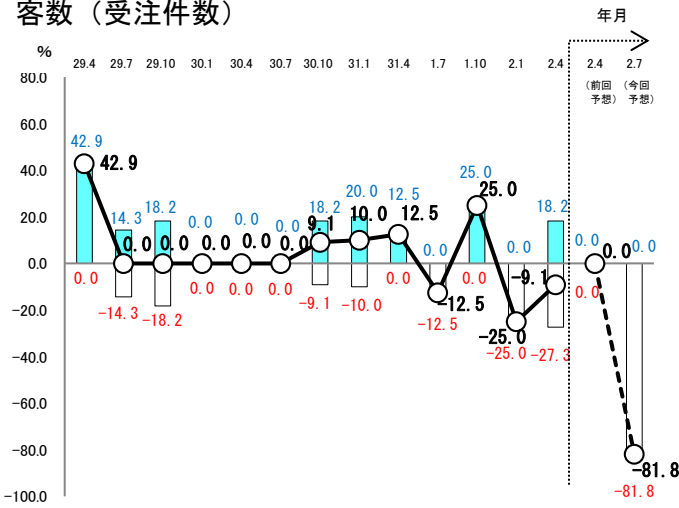
業況



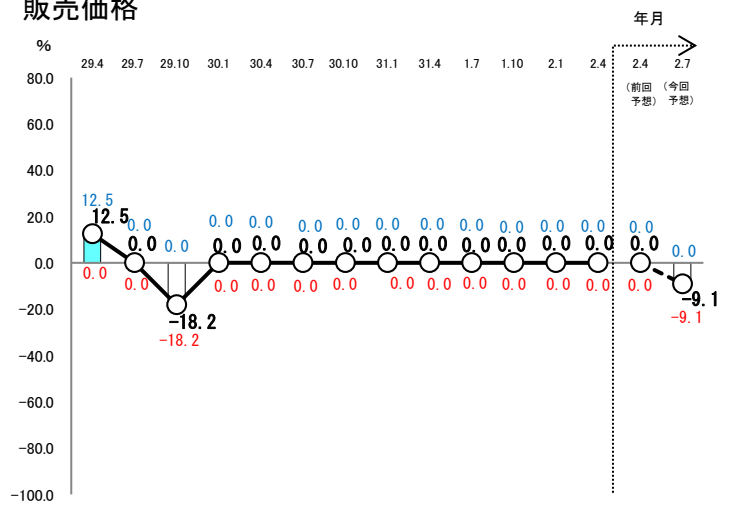
売上高



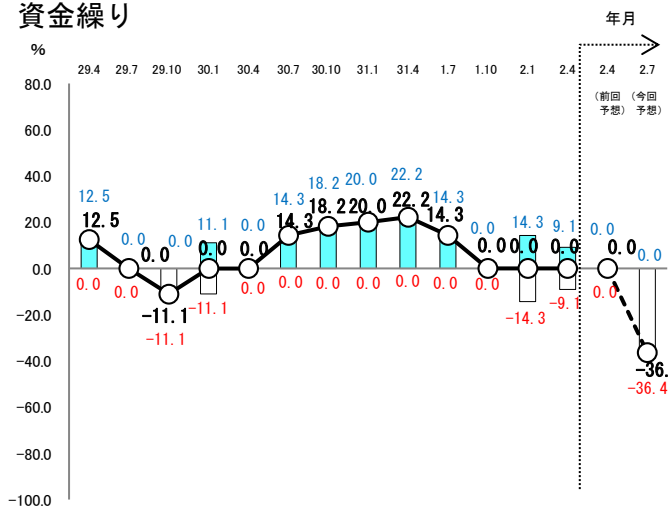
客数 (受注件数)



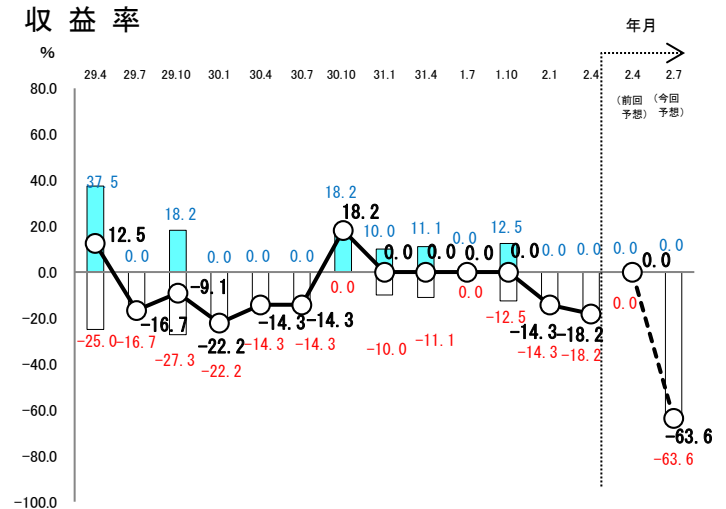
販売価格



資金繰り

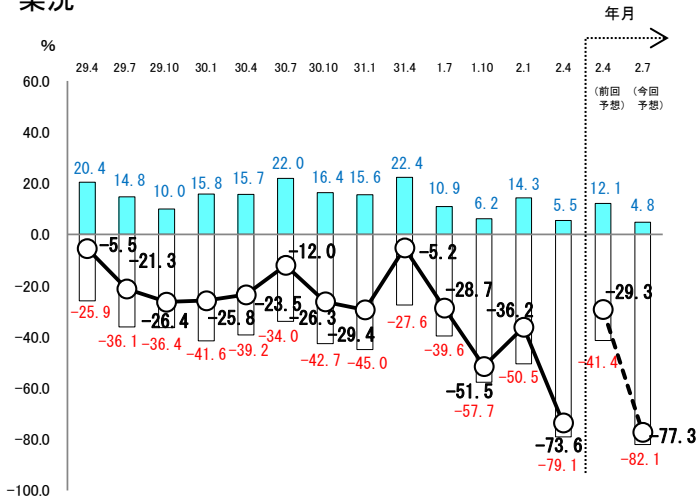


収益率

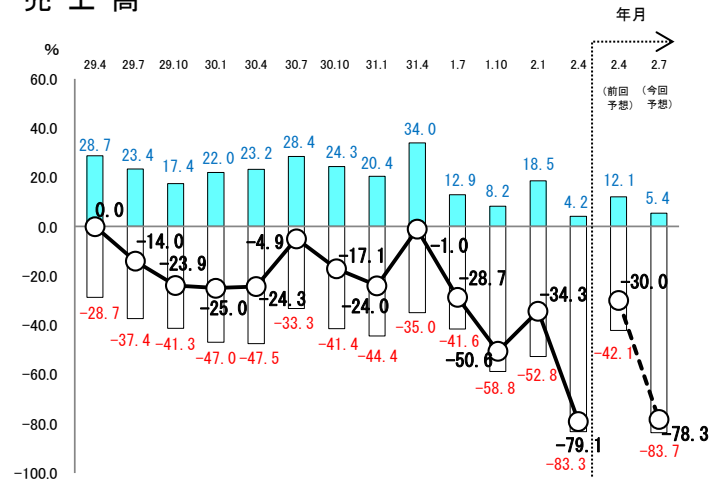


ウ 小売業

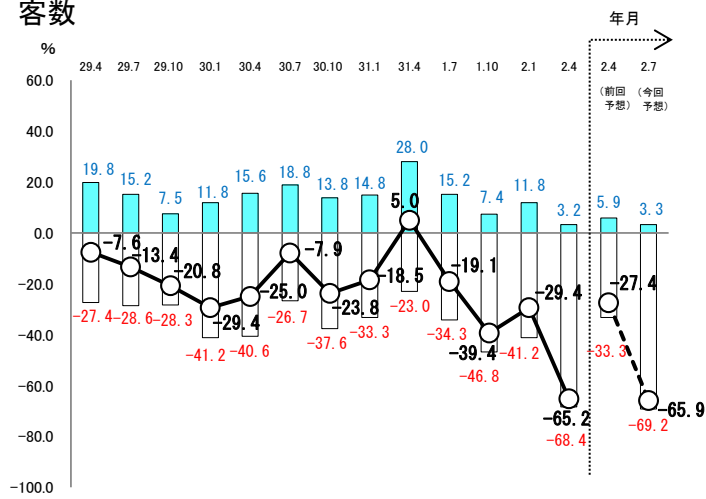
業況



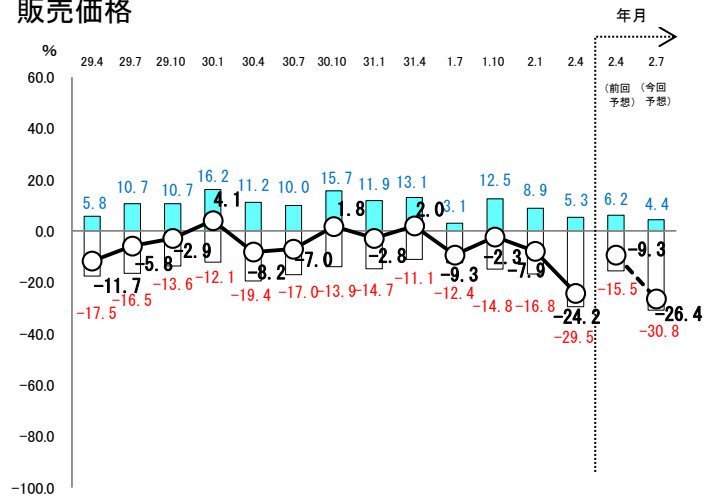
売上高



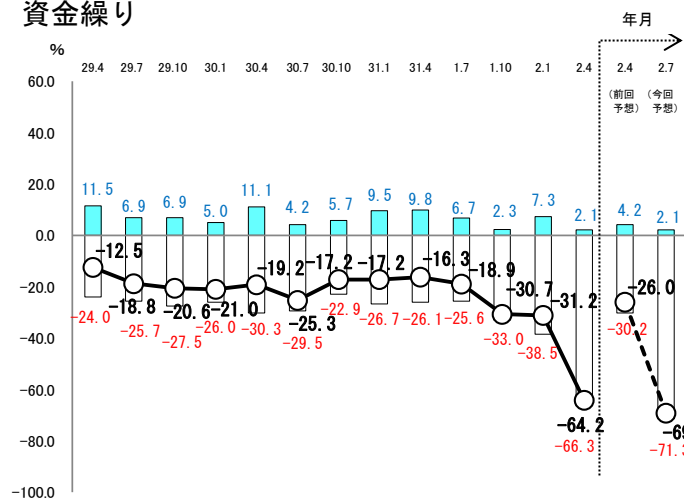
客数



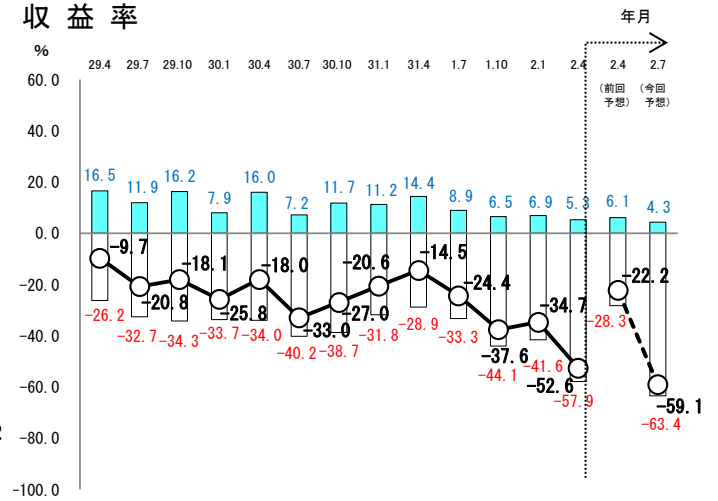
販売価格



資金繰り

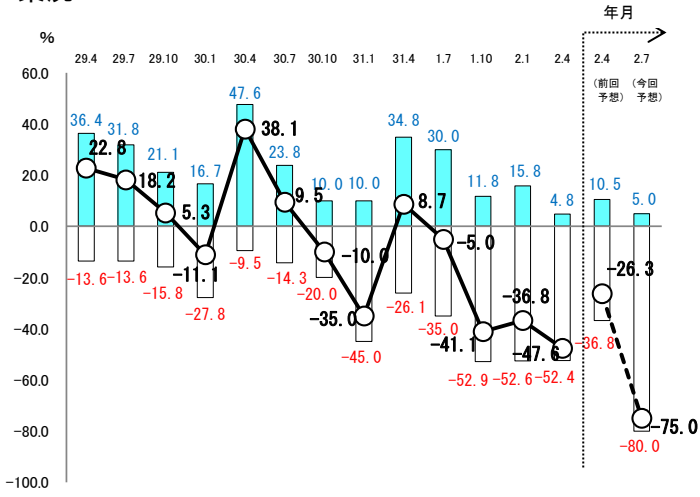


収益率

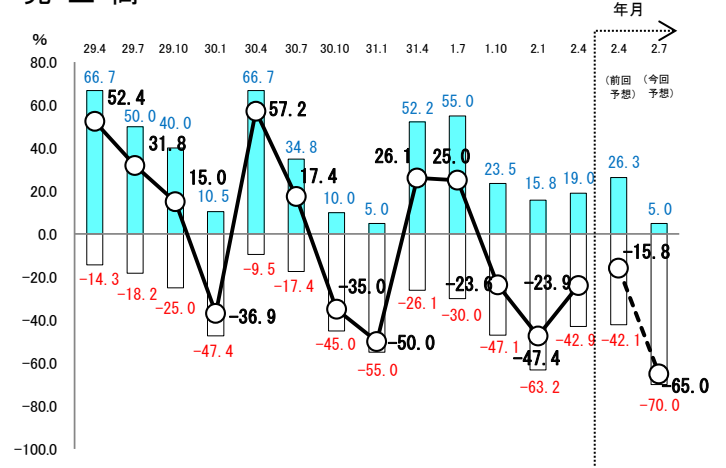


工 卸売業

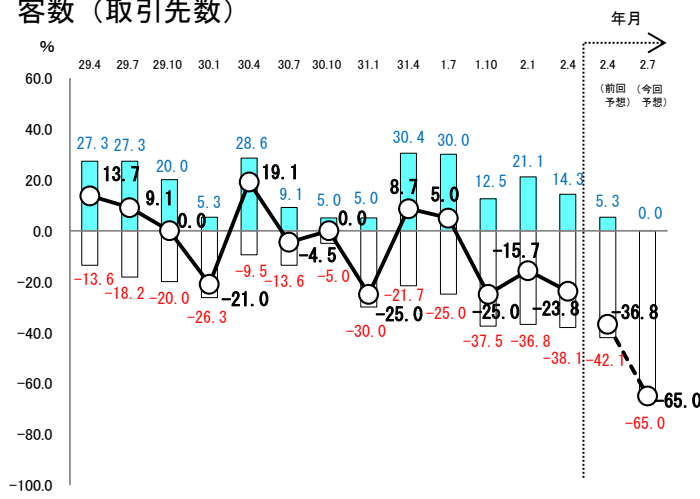
業況



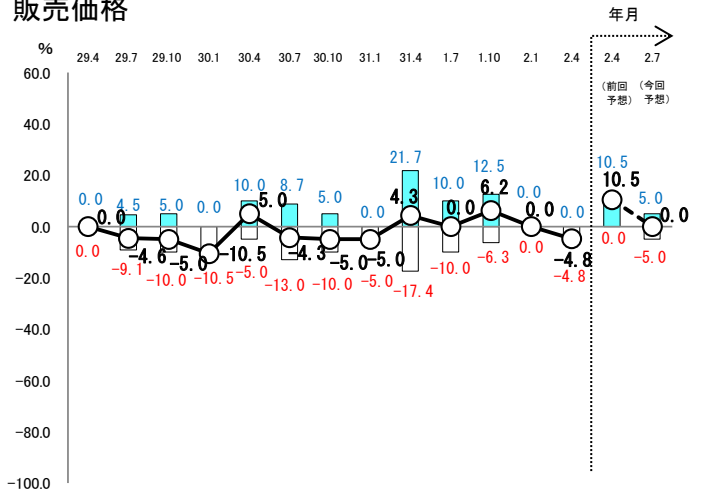
売上高



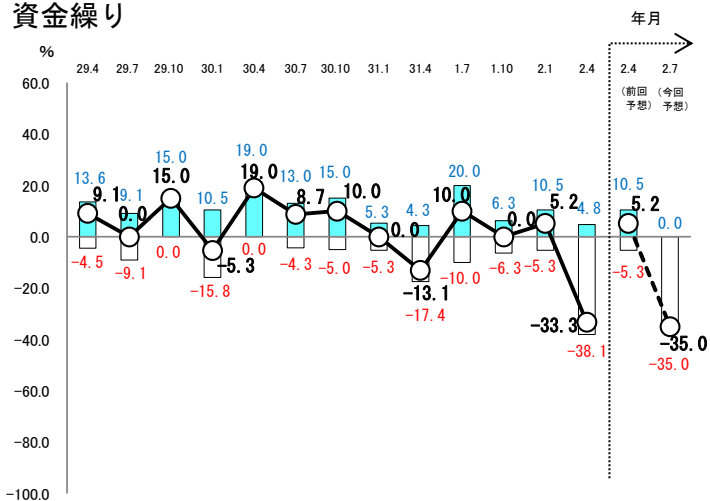
客数 (取引先数)



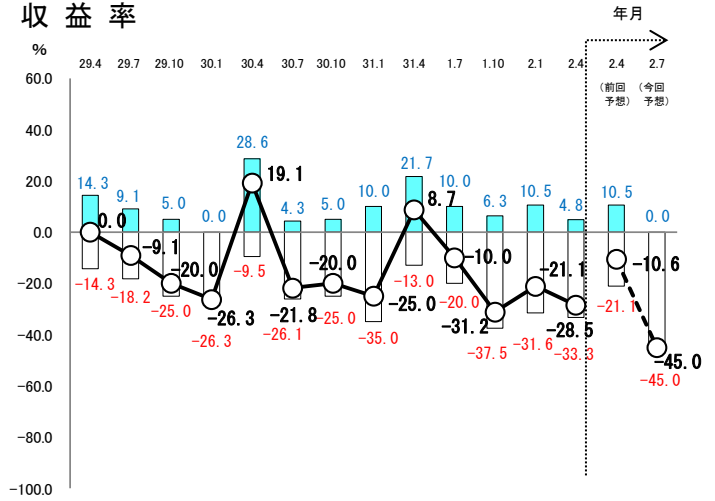
販売価格



資金繰り

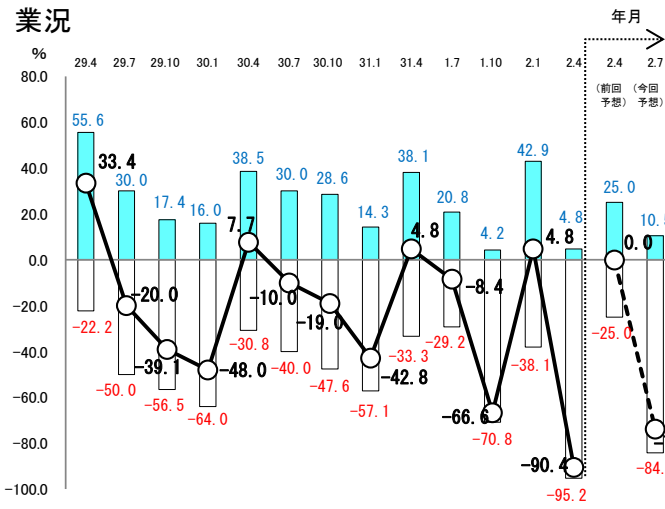


収益率

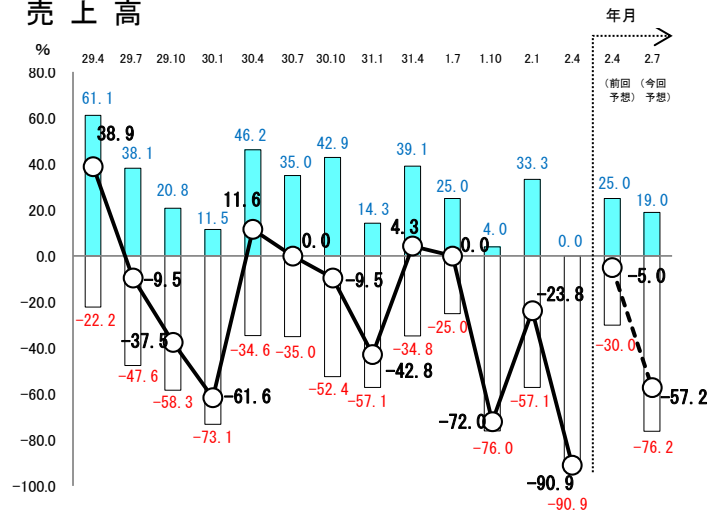


才 飲食業

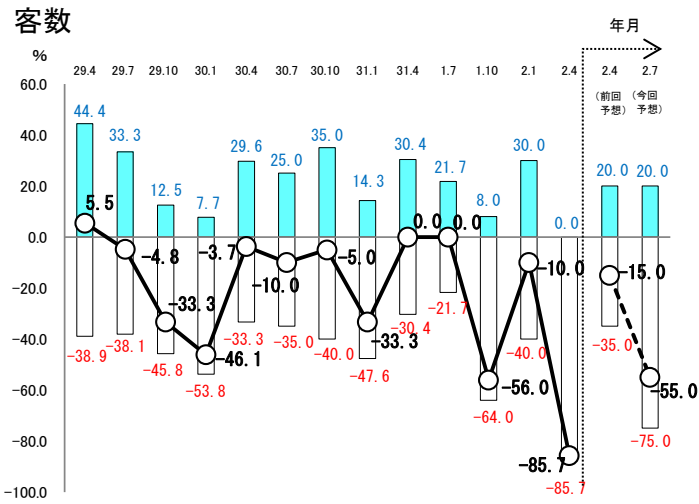
業況



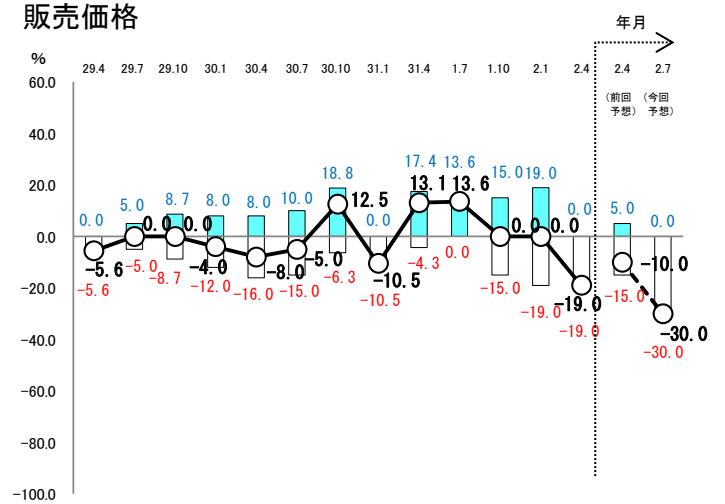
売上高



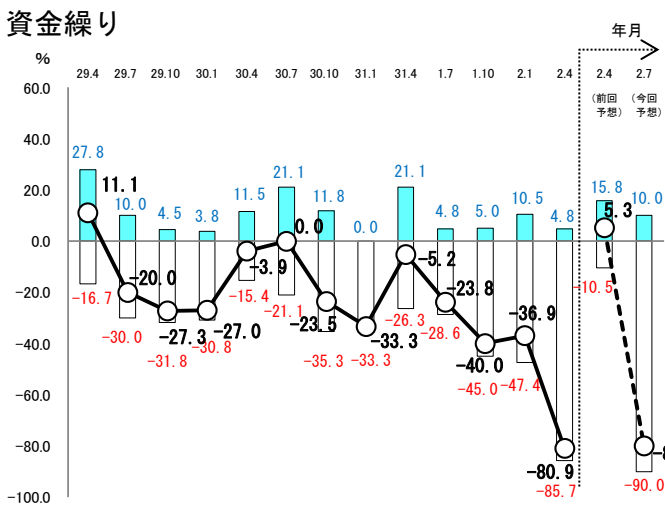
客数



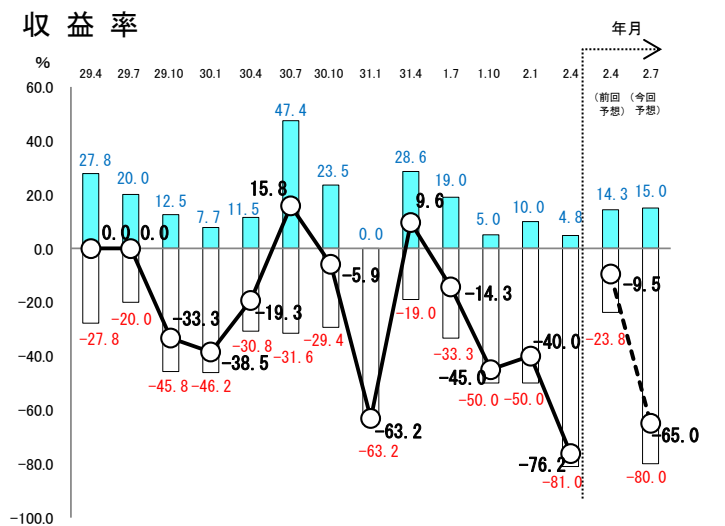
販売価格



資金繰り

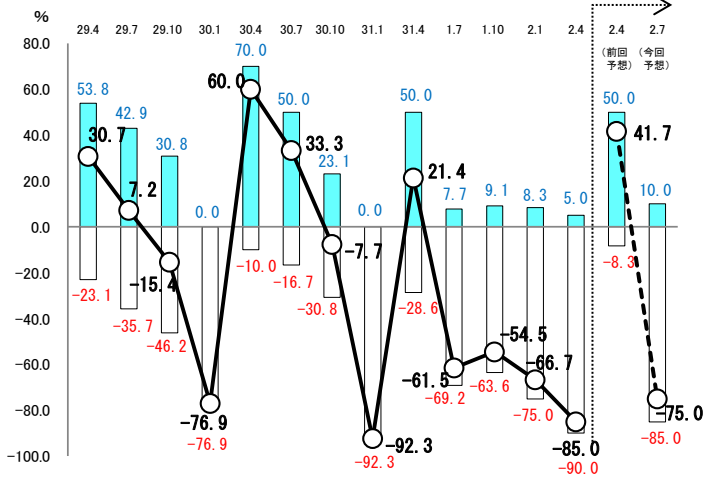


収益率

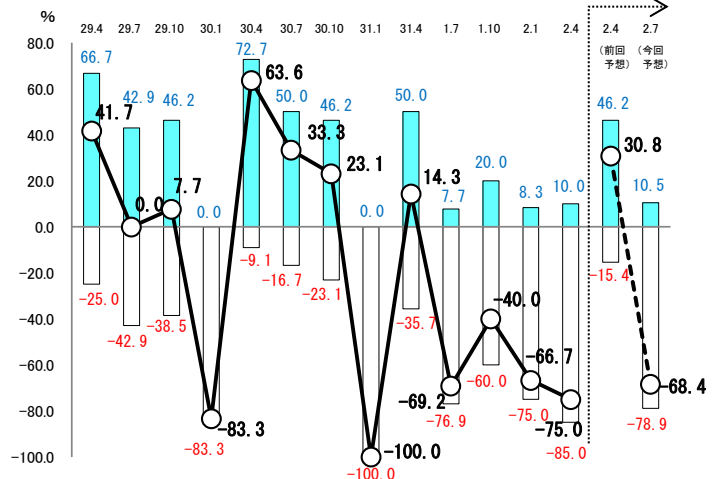


力 宿泊業

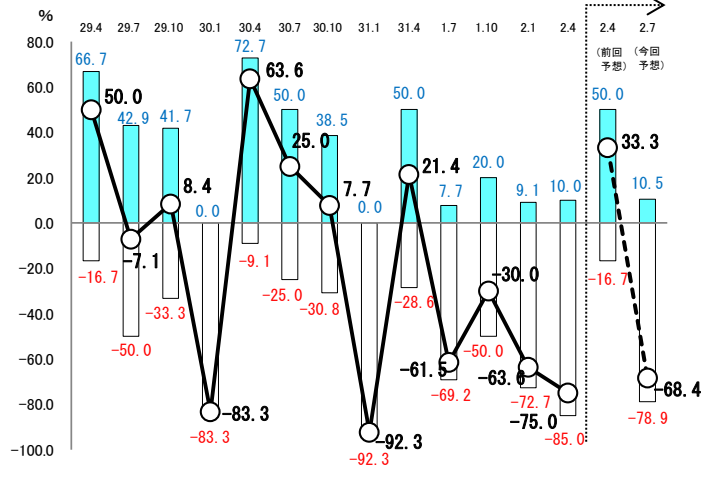
業況



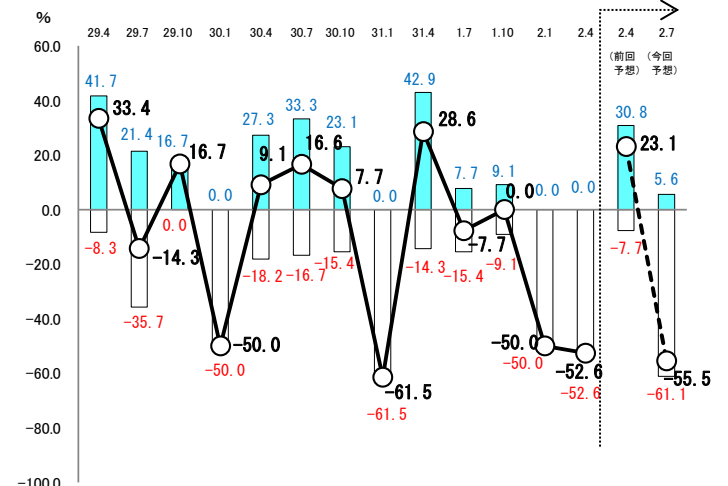
売上高



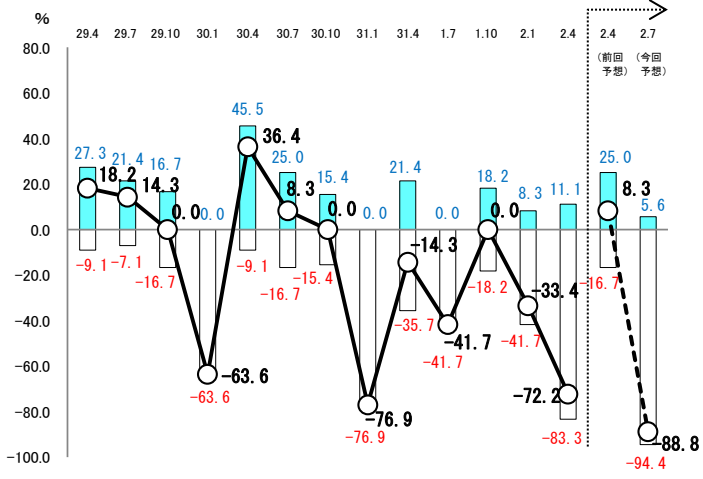
客数



販売価格



資金繰り



収益率

